

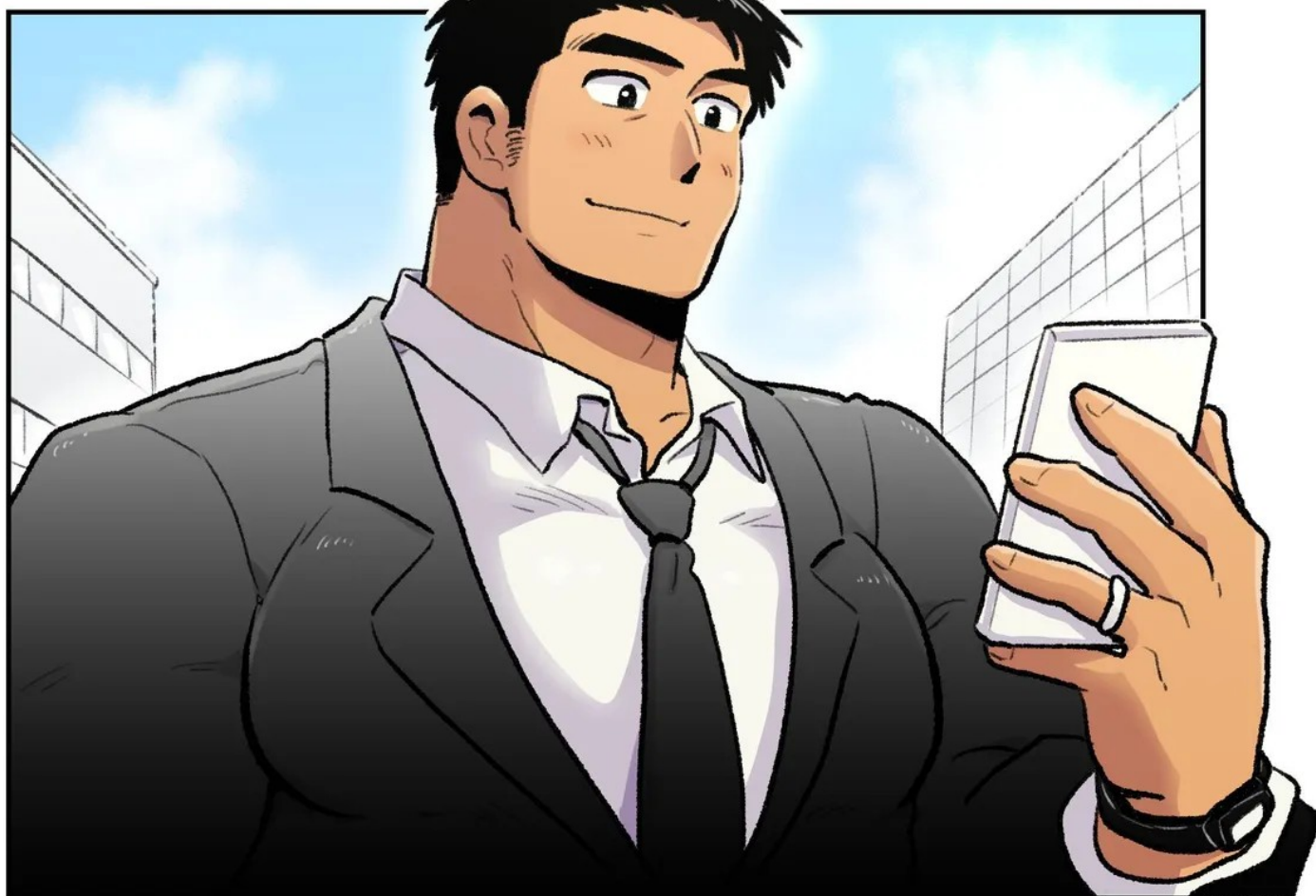
出張マツチヨパパーリマン
がいたので催眠アプリで
エロ玩具にします

ほしえた



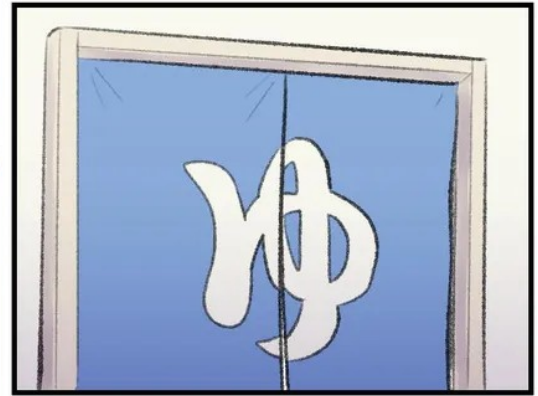
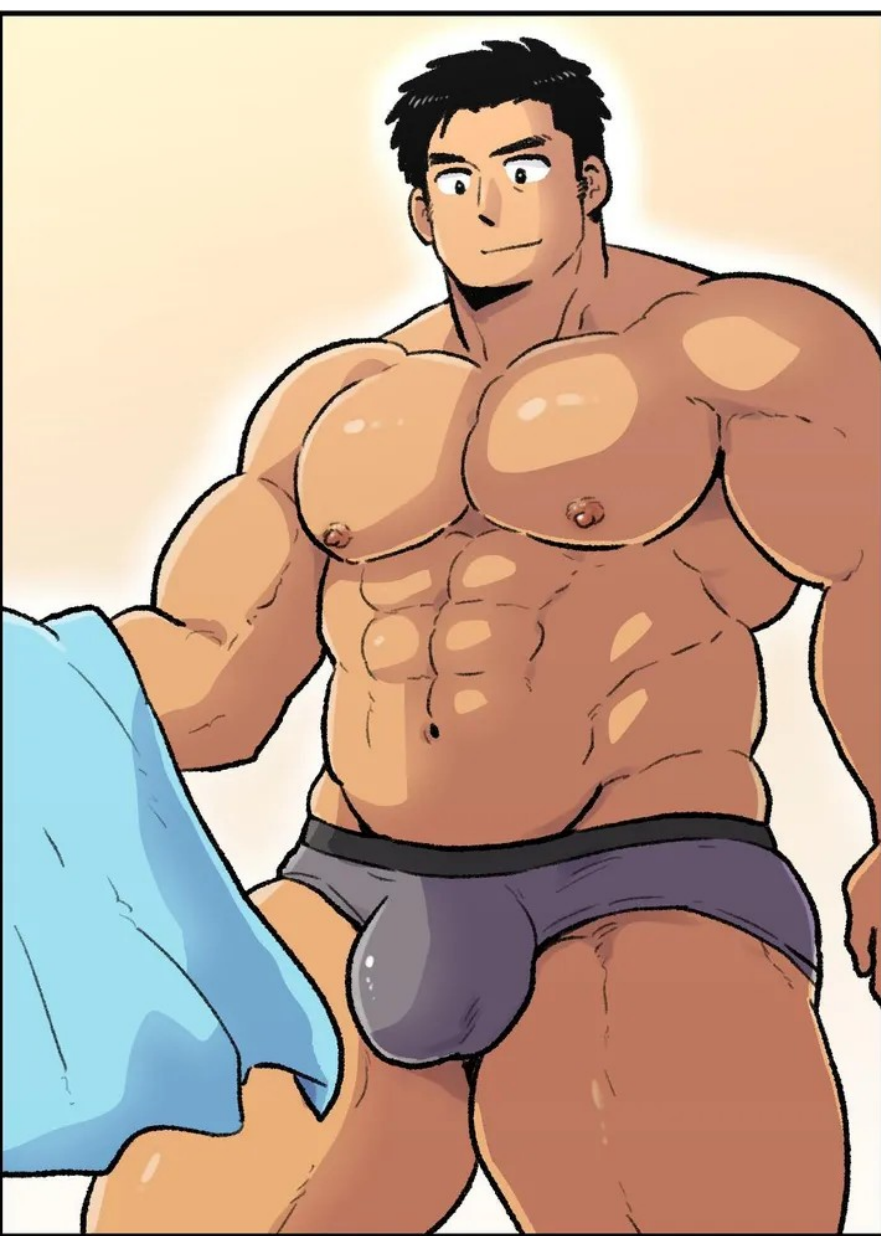
18歳未満の
購入・閲覧禁止

この物語はフィクションです





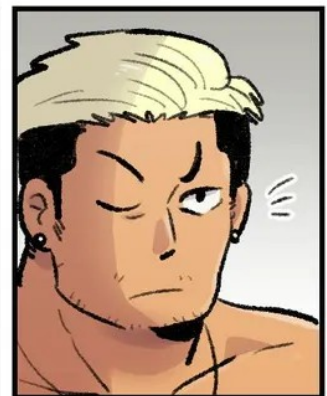
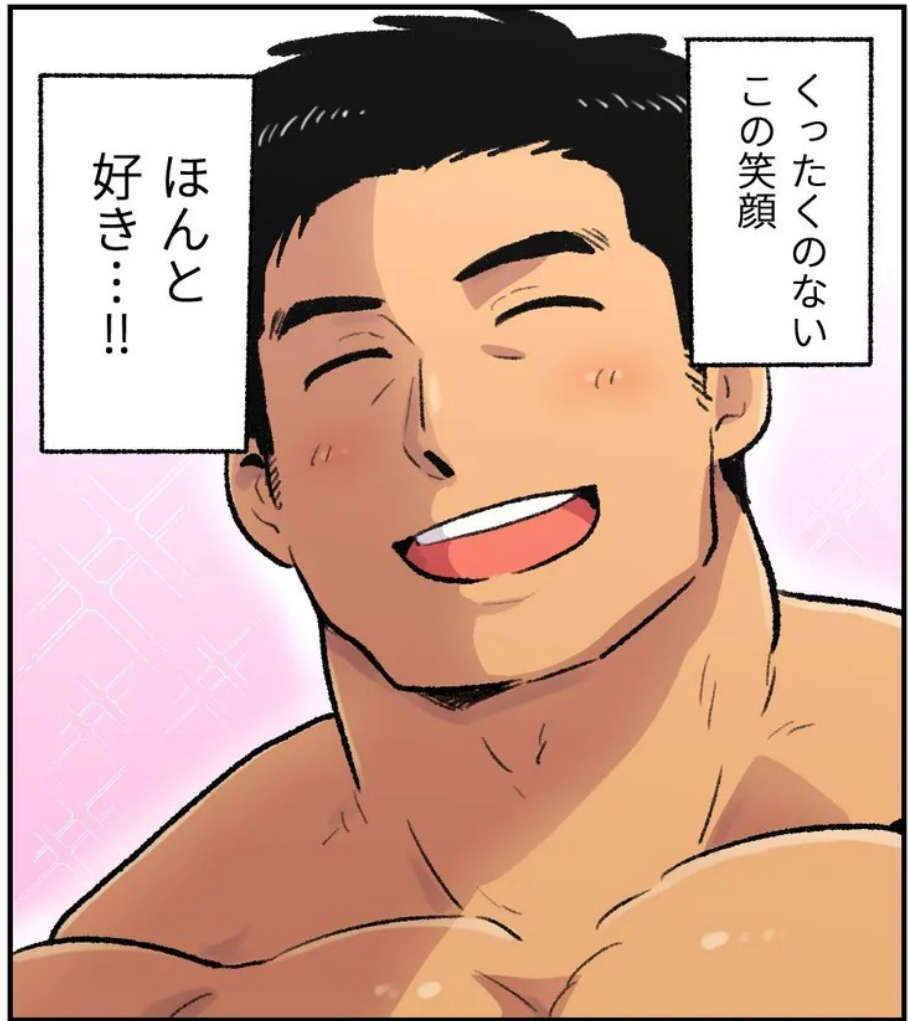


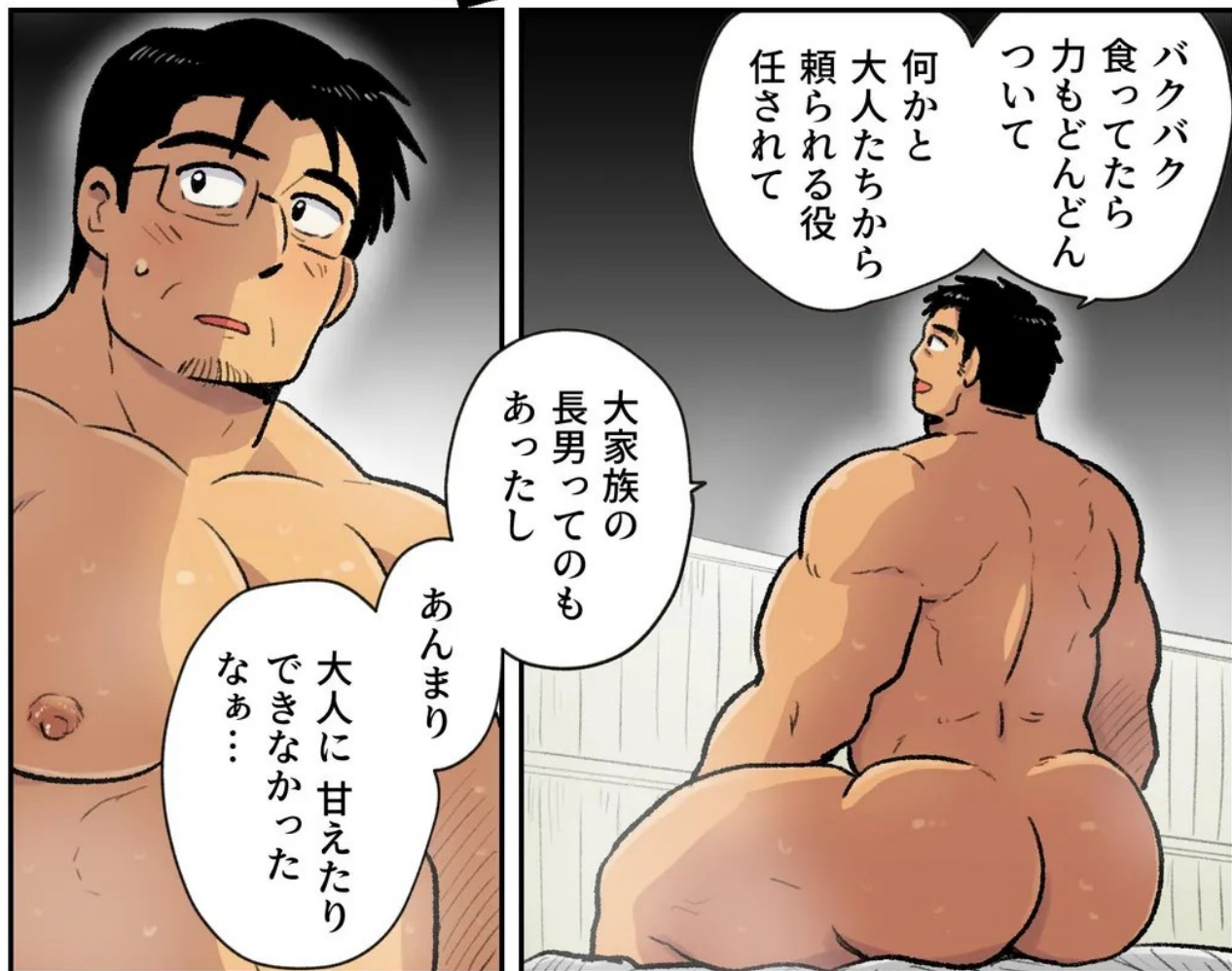


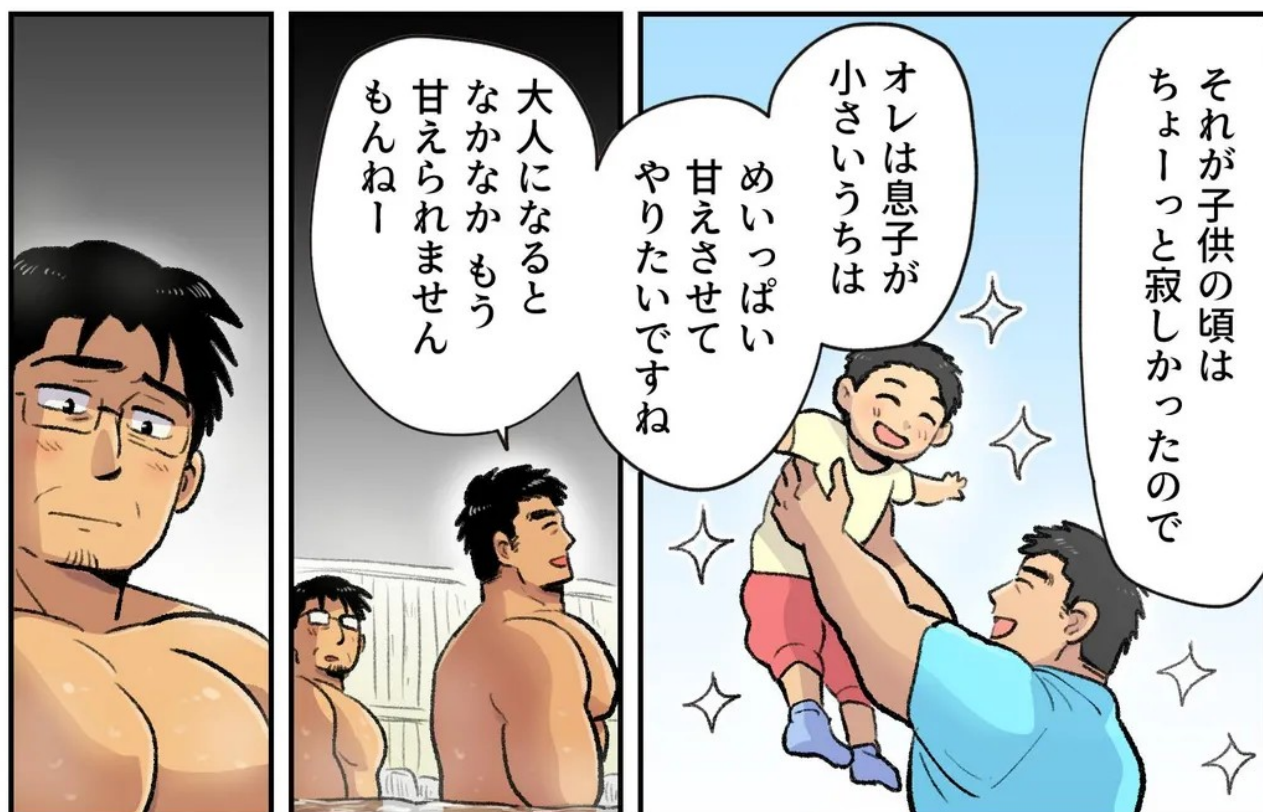






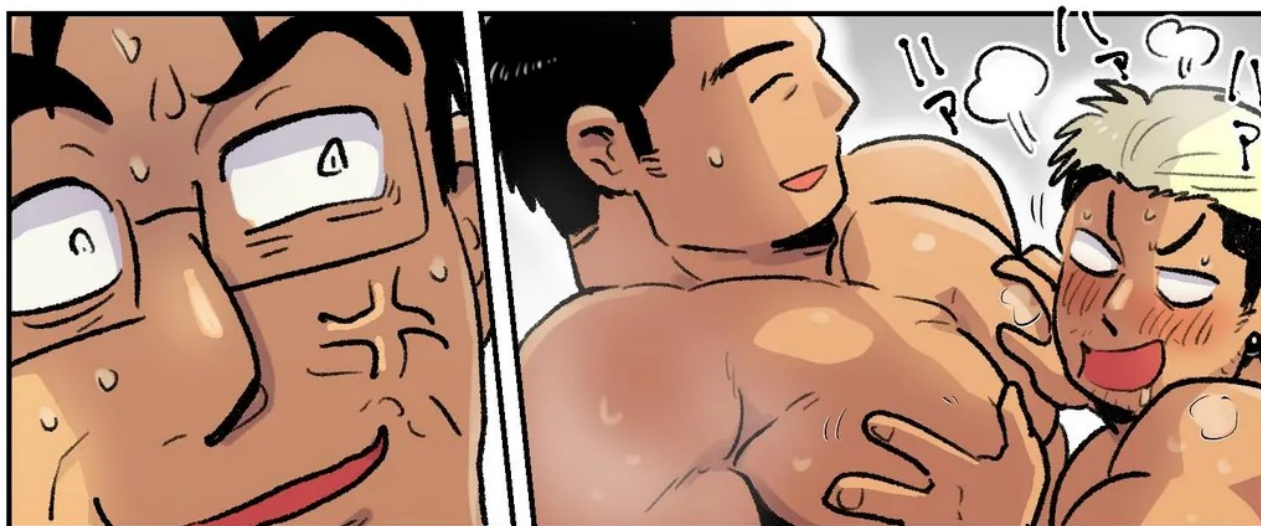
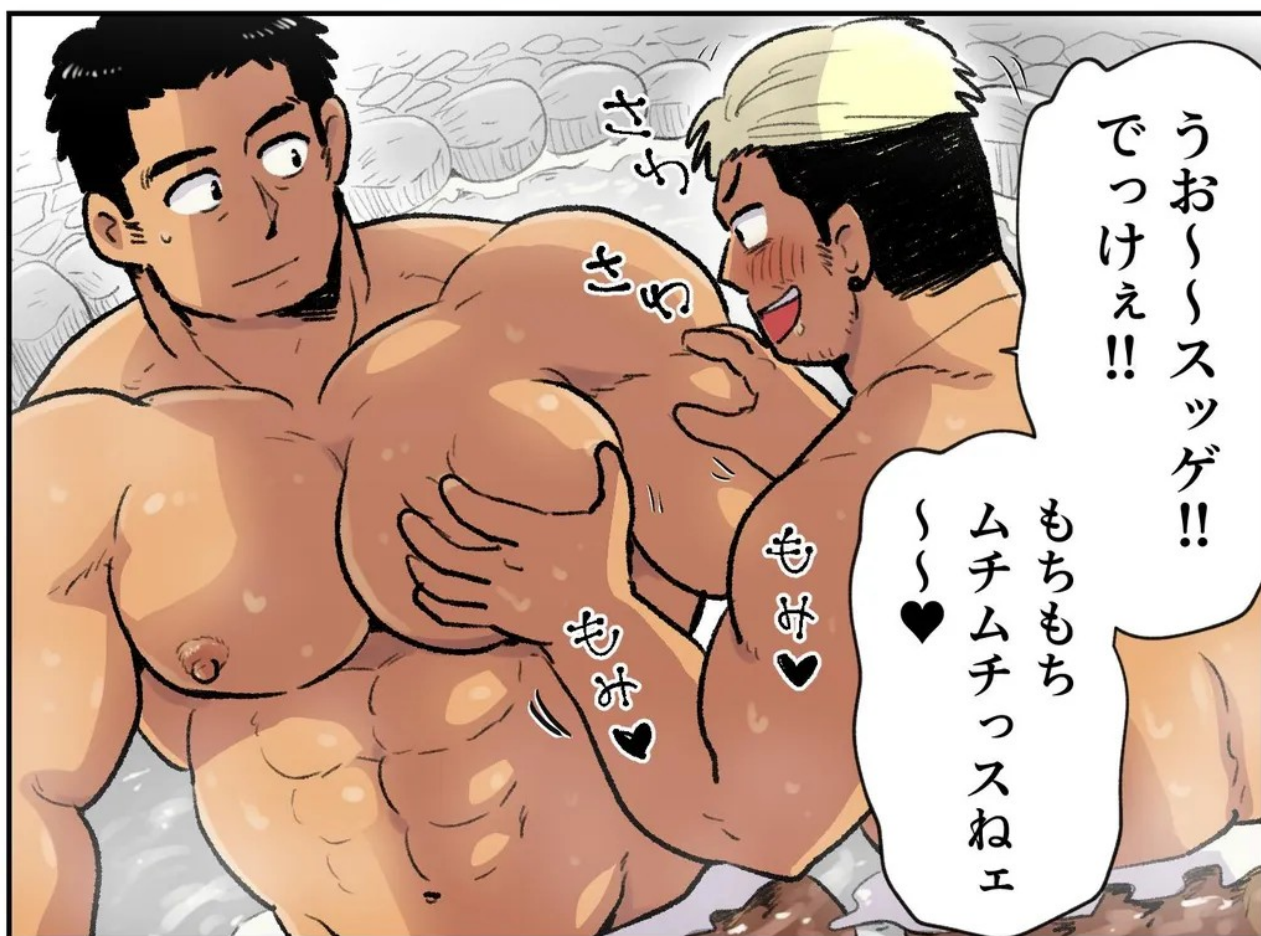


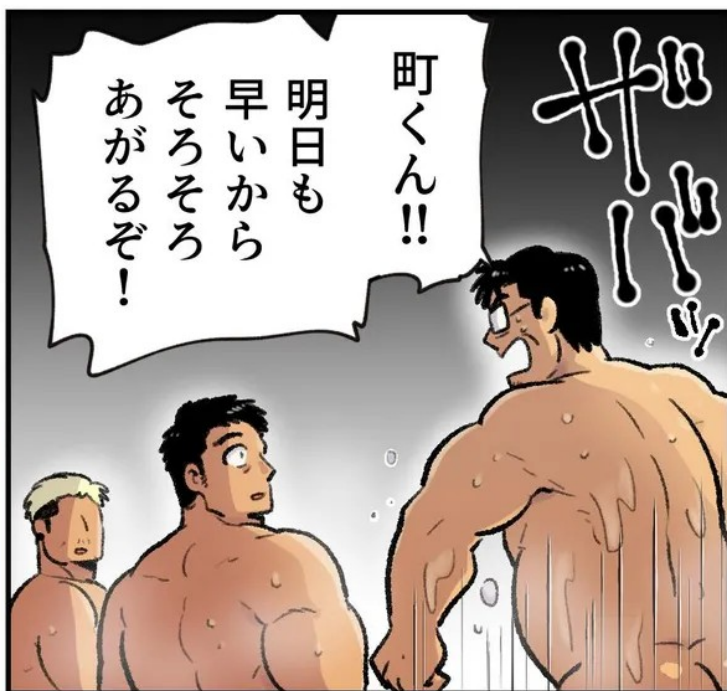




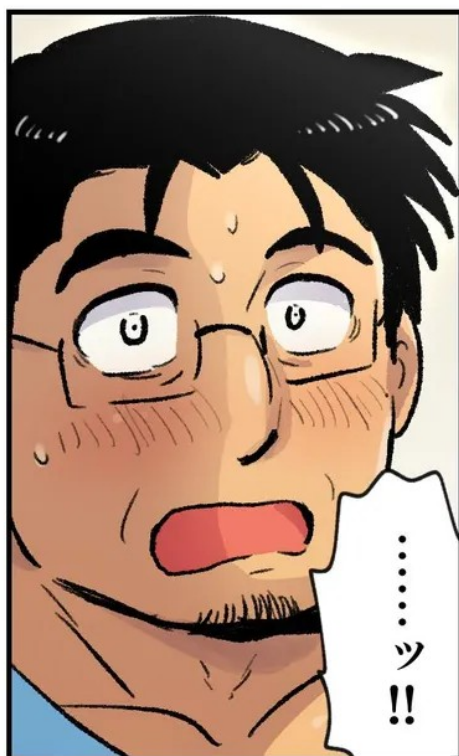


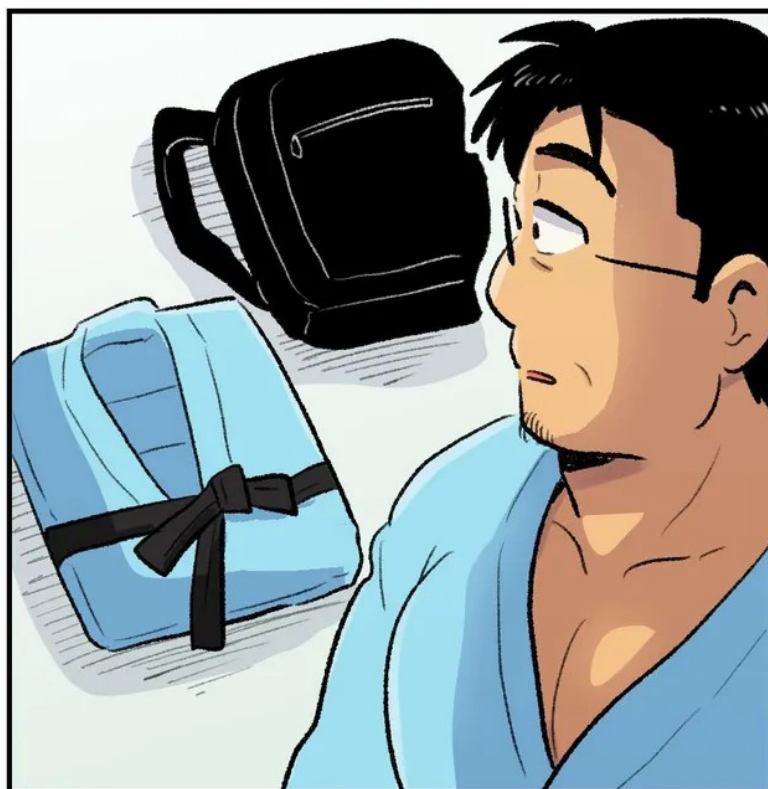




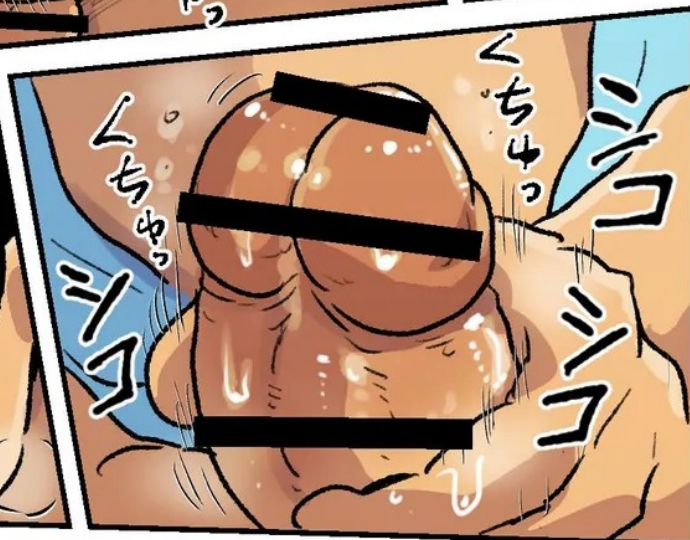
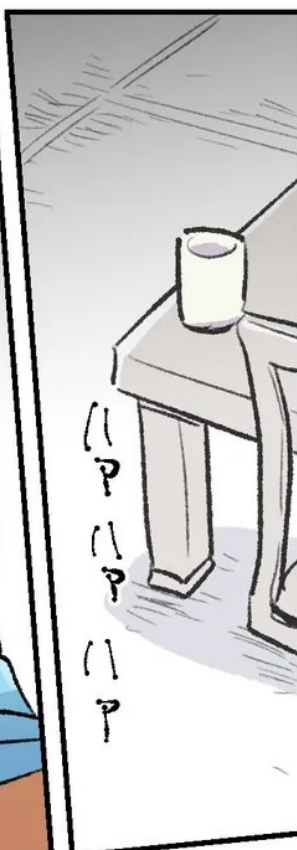
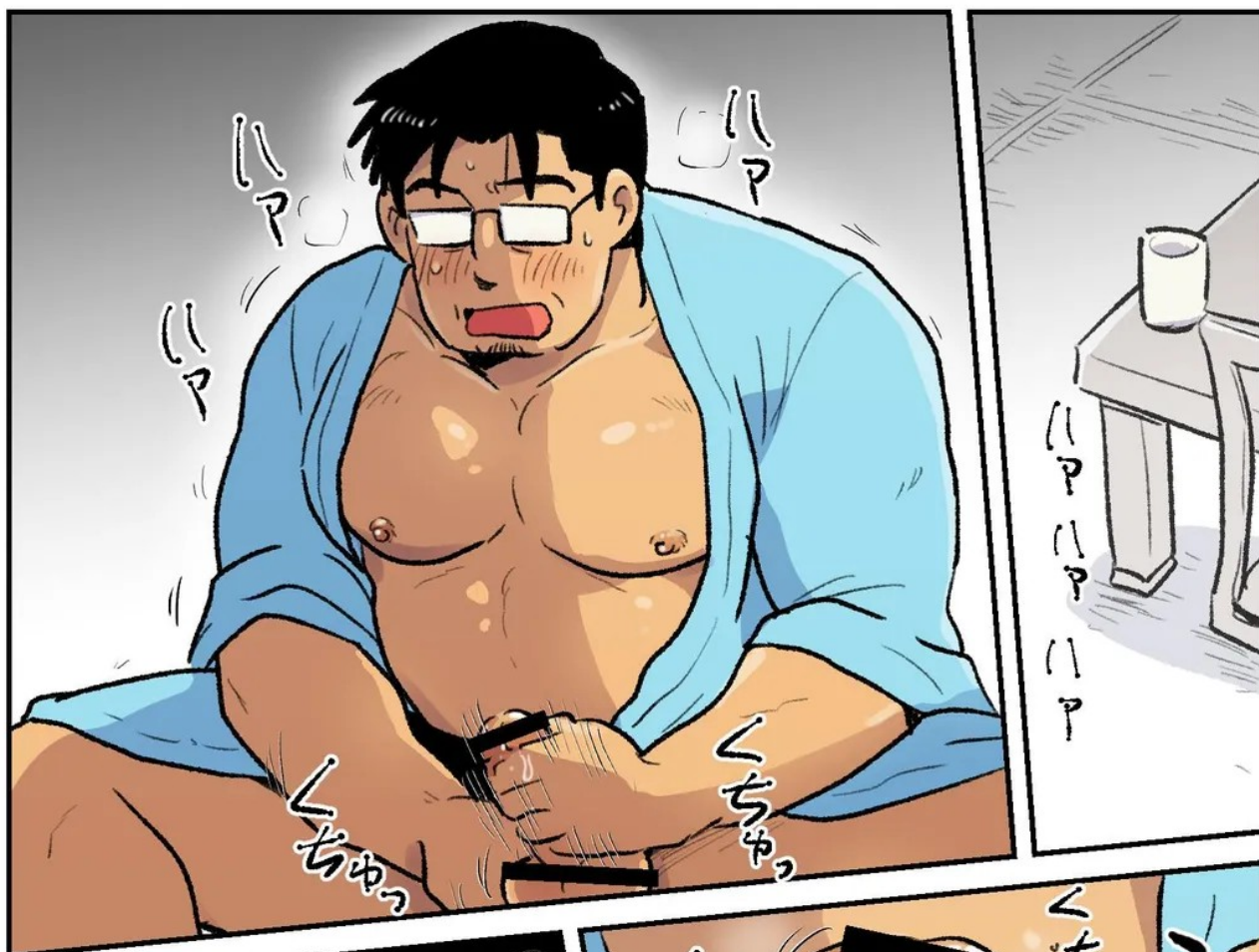




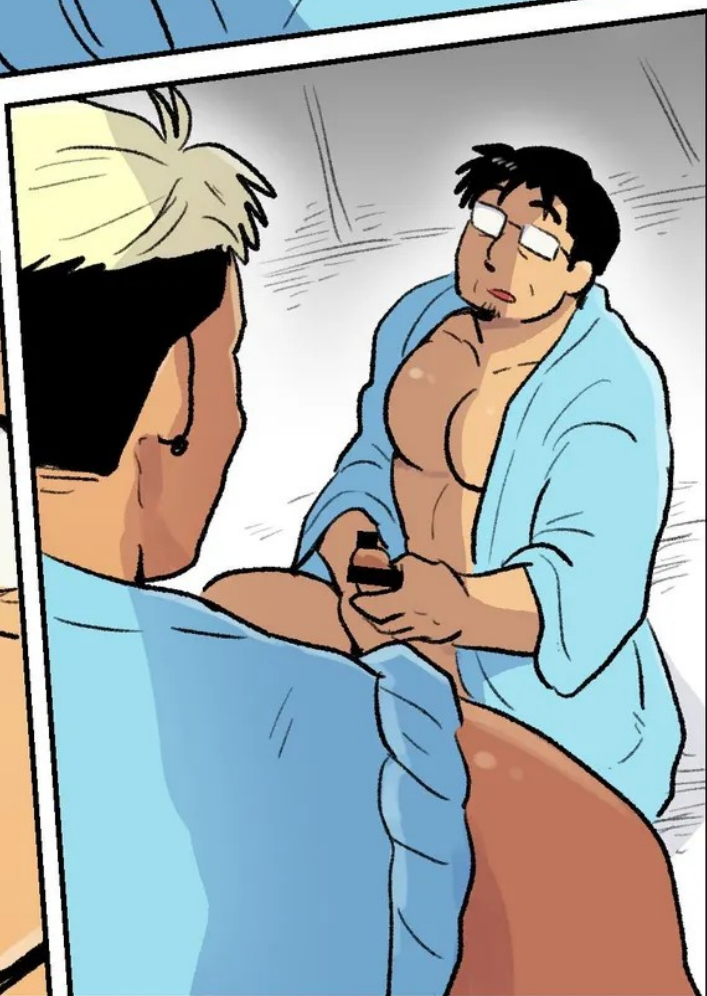
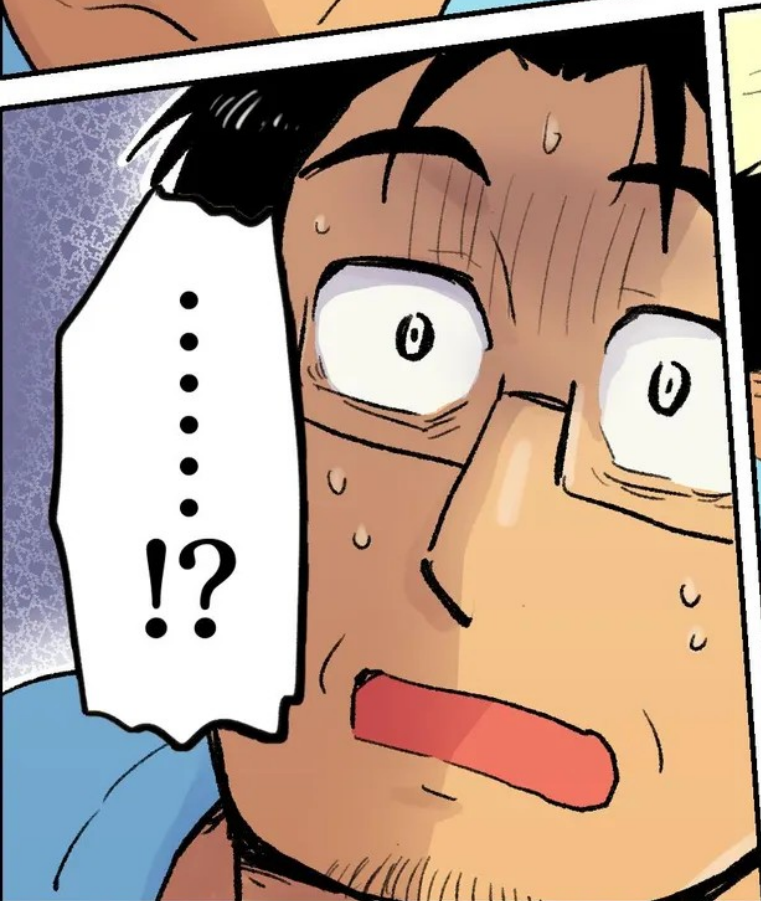
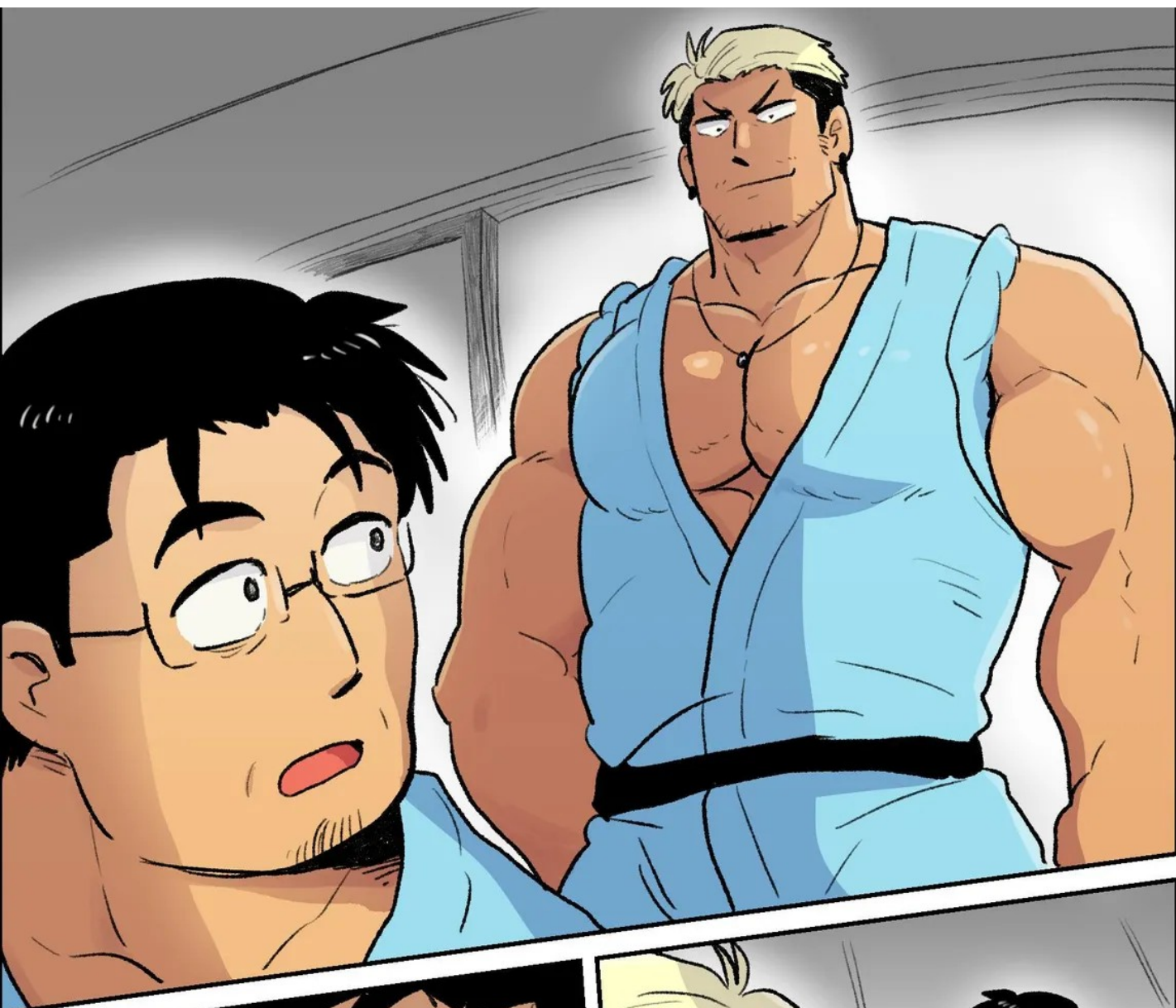




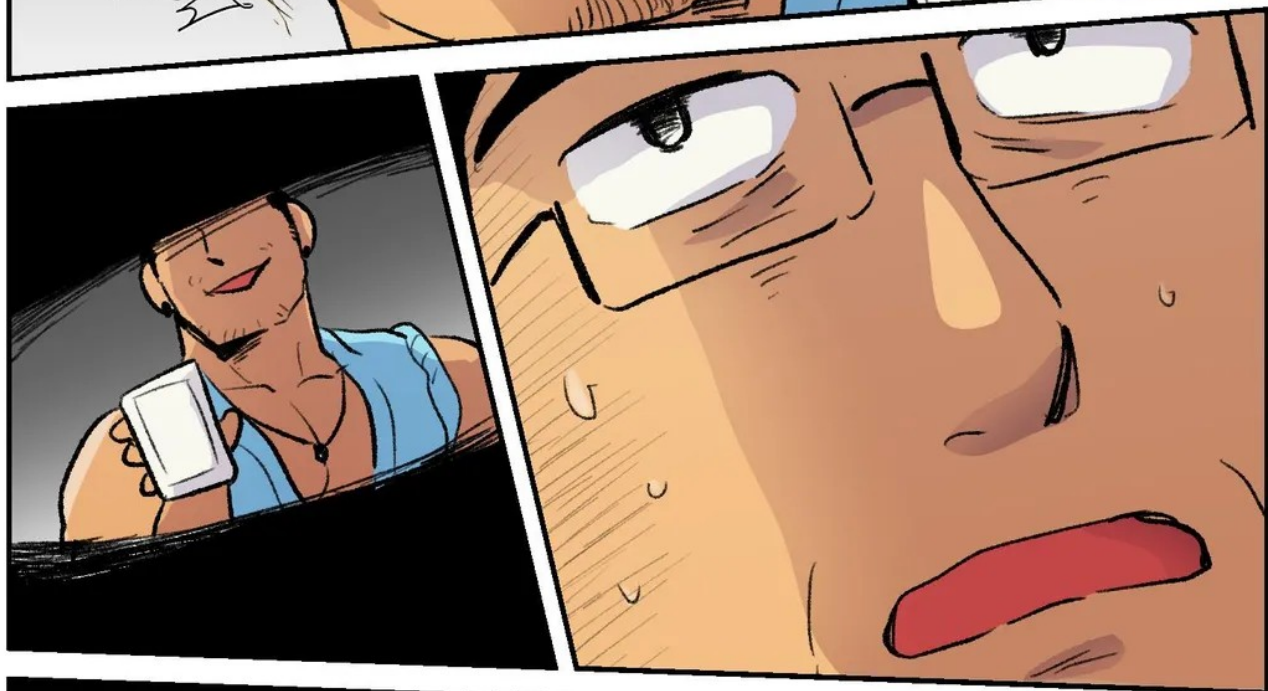
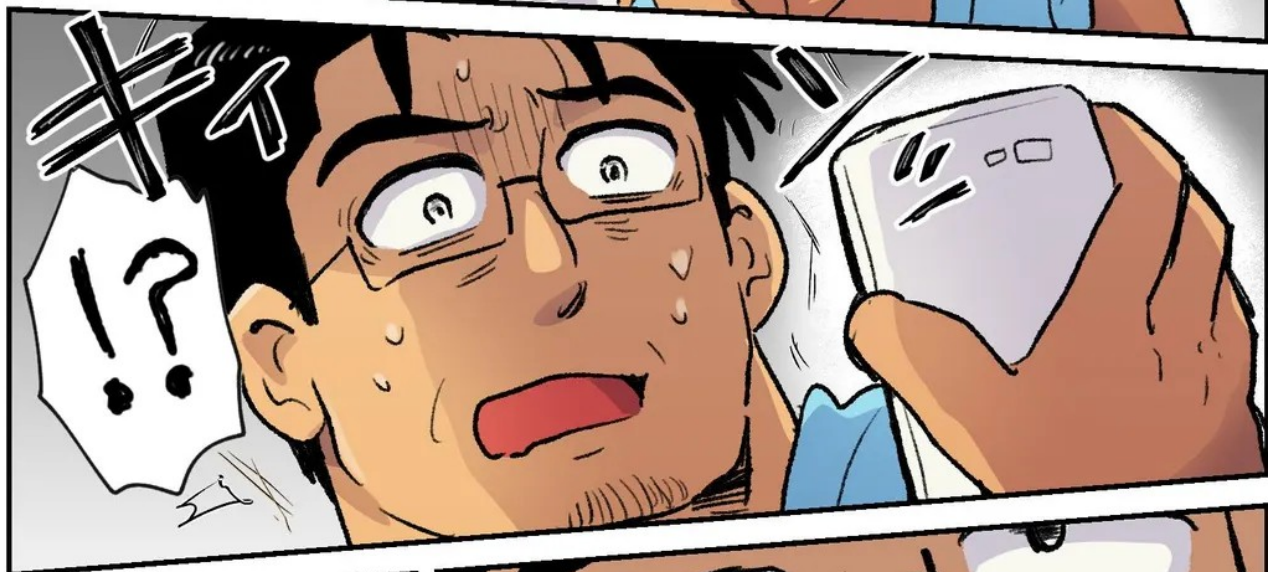


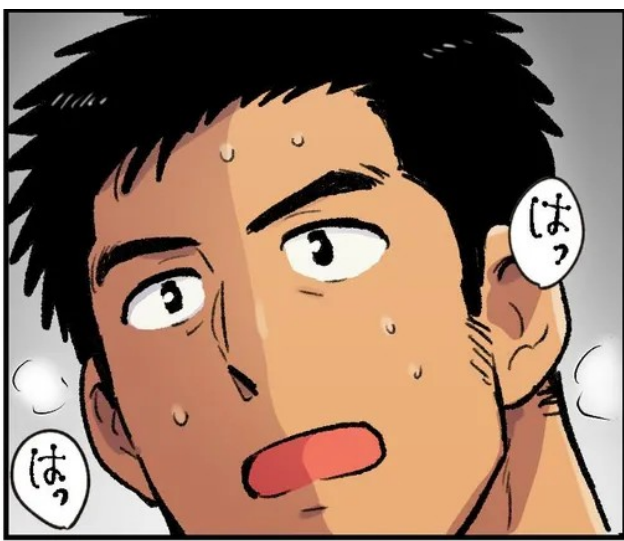


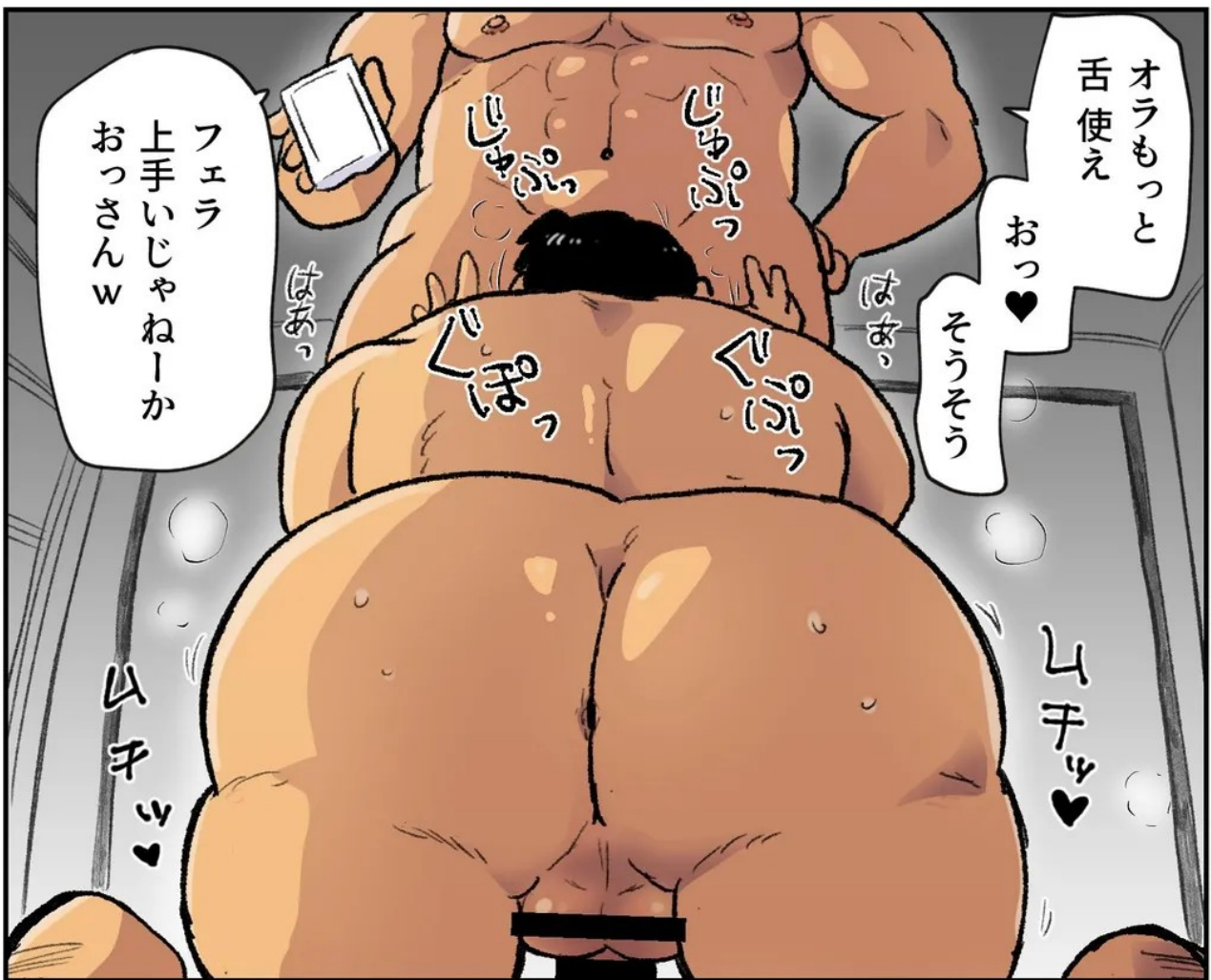
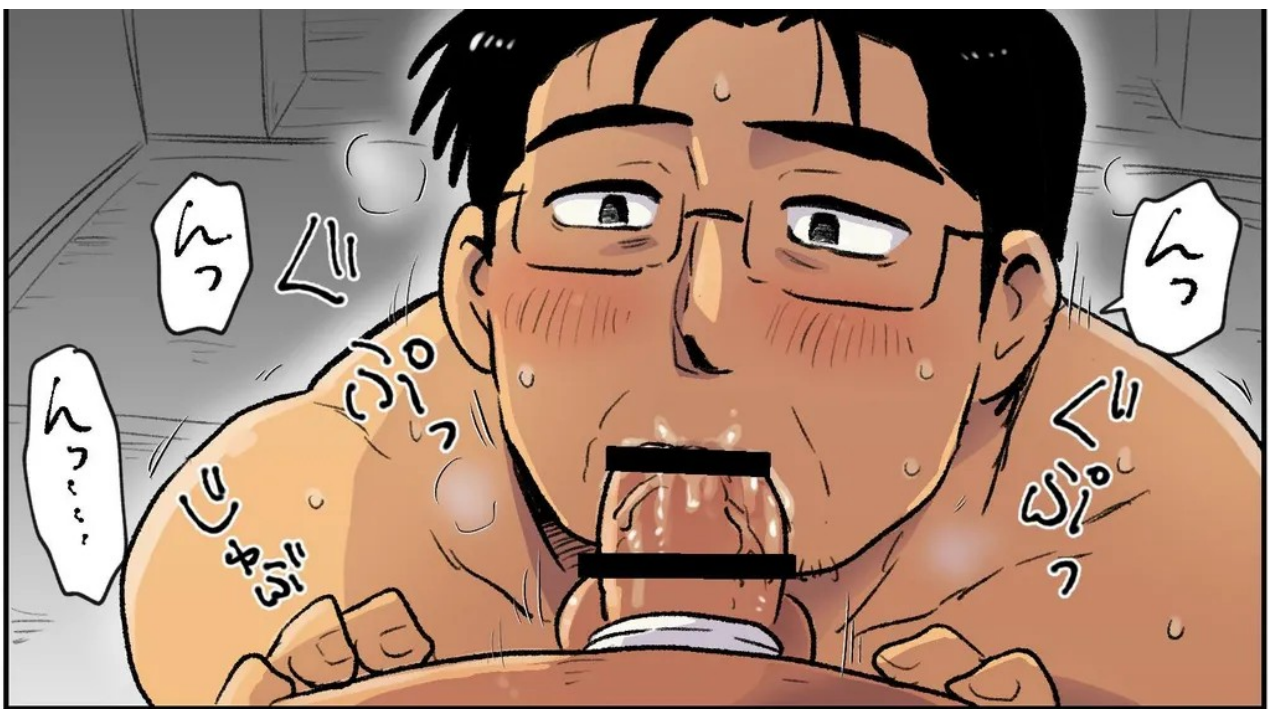




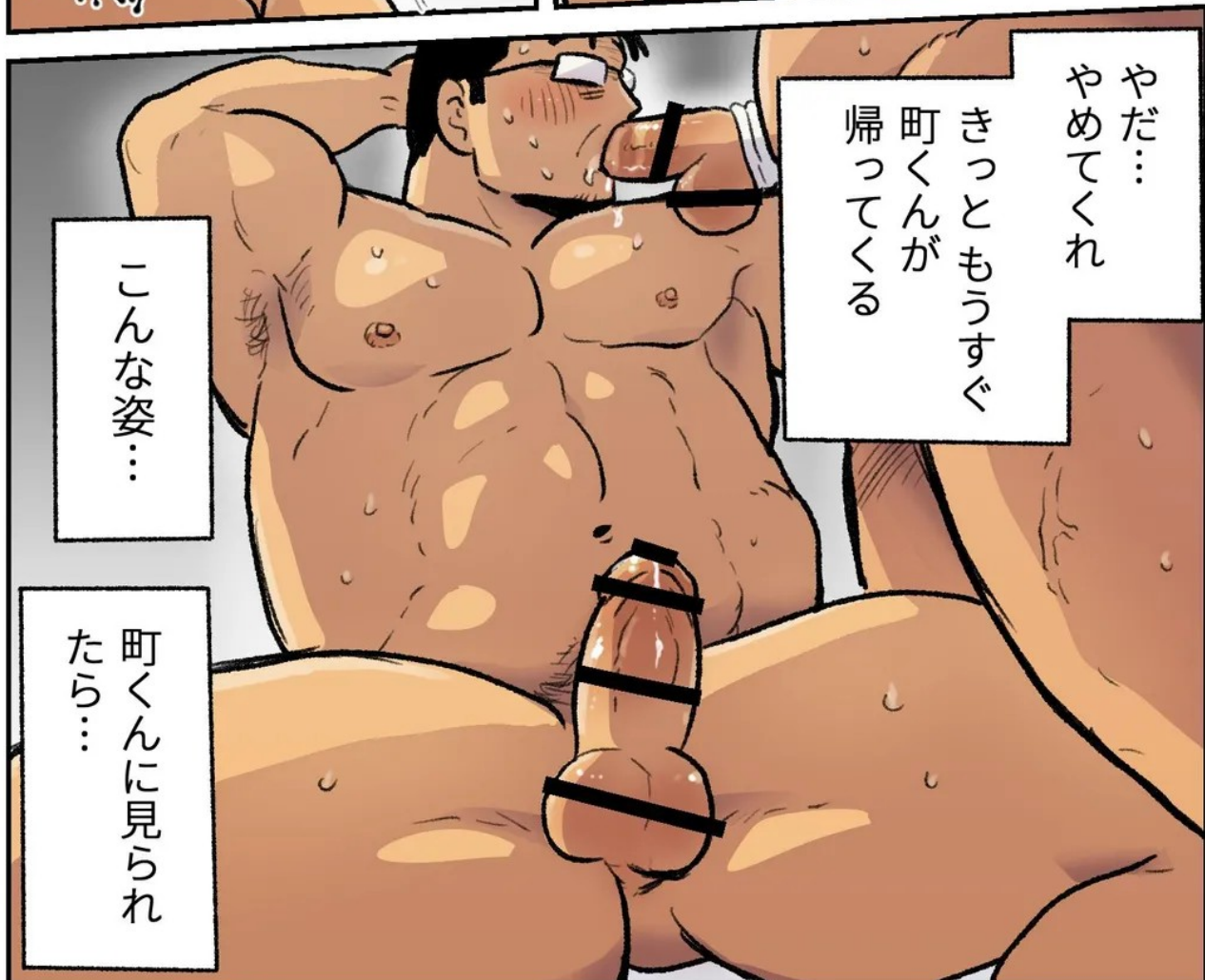
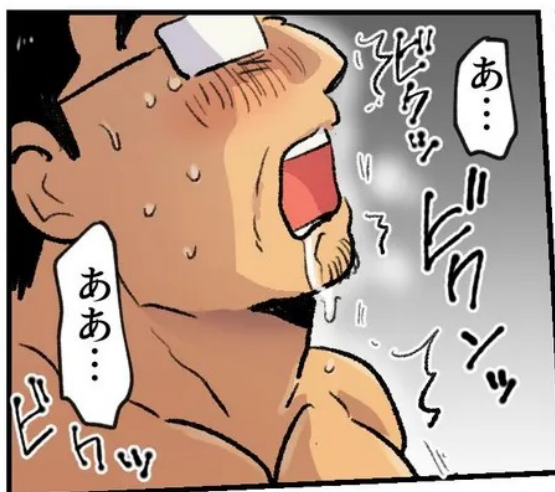


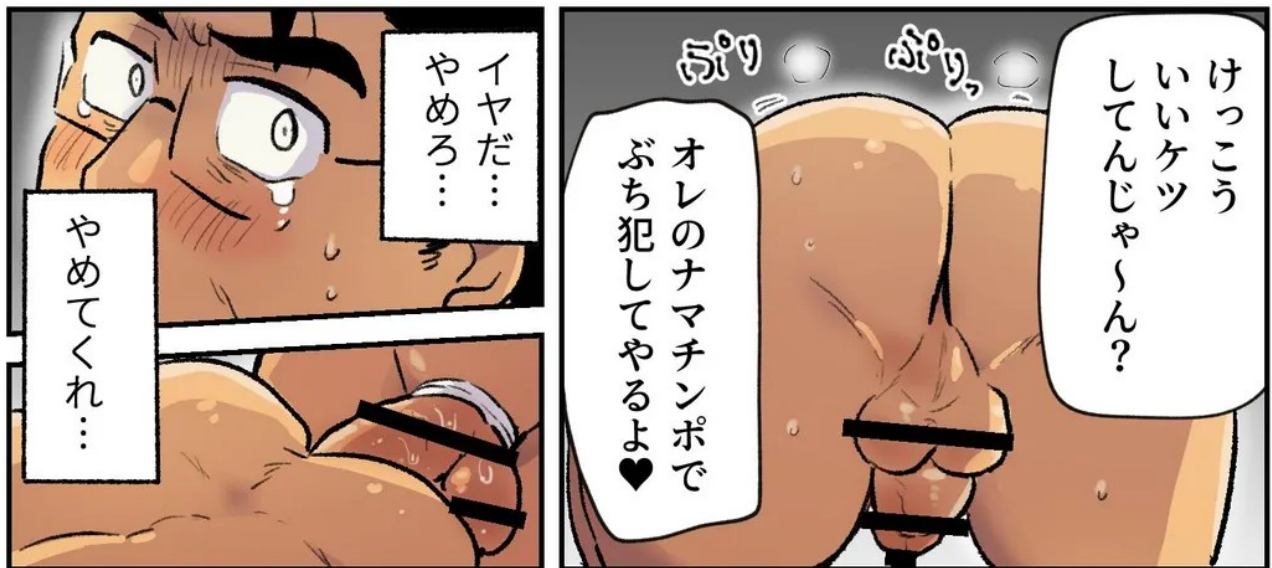
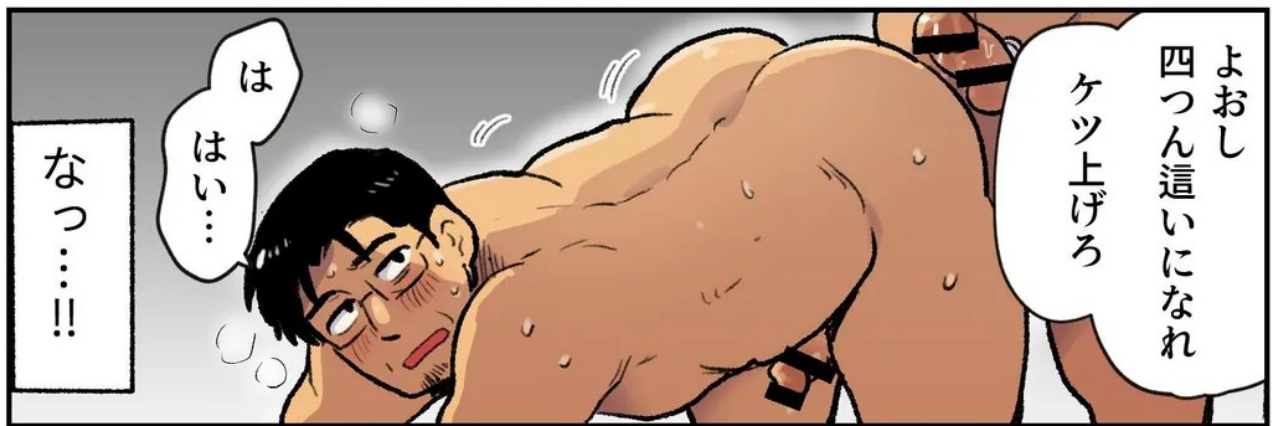




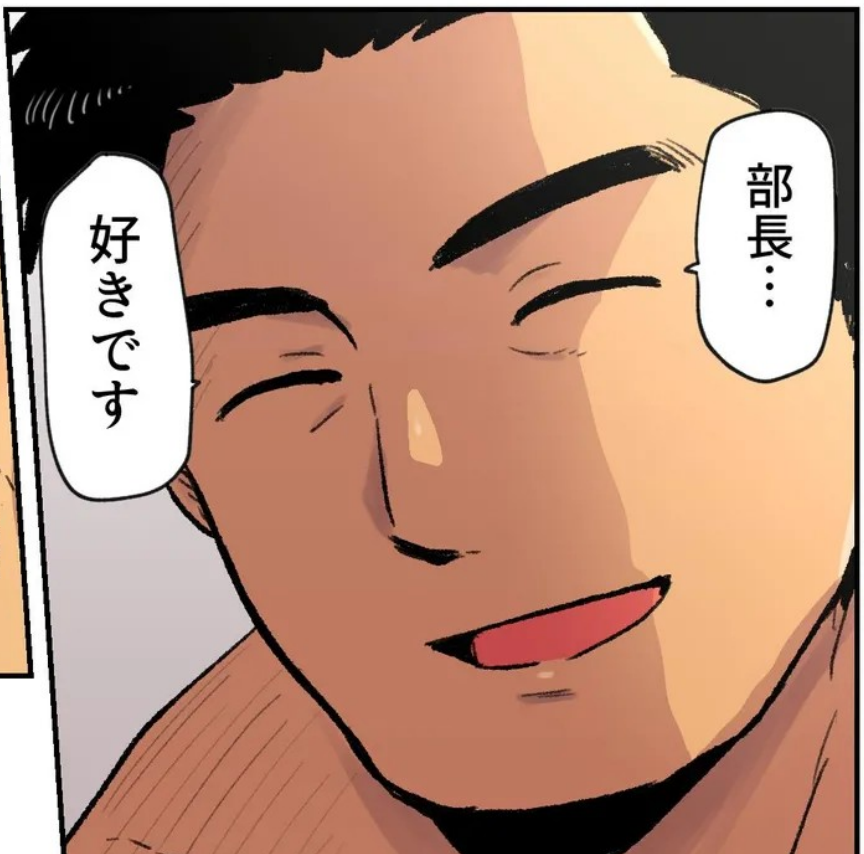
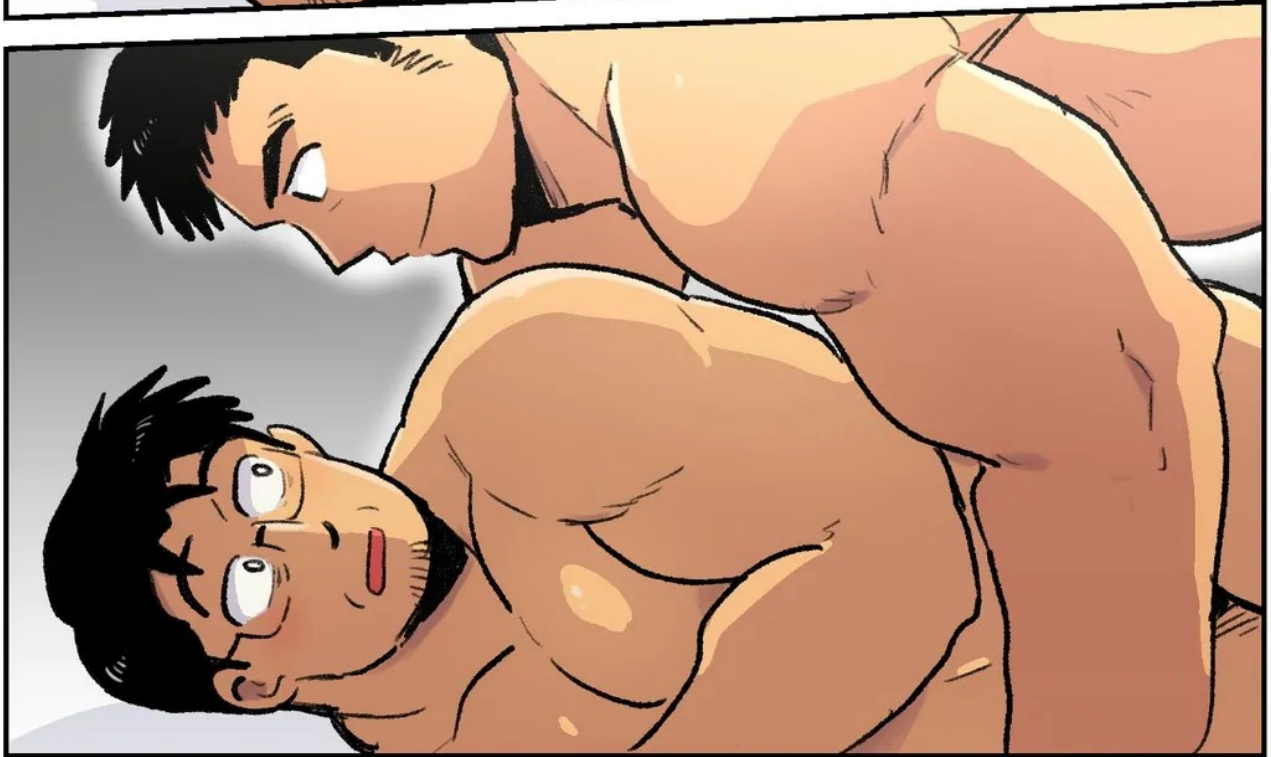


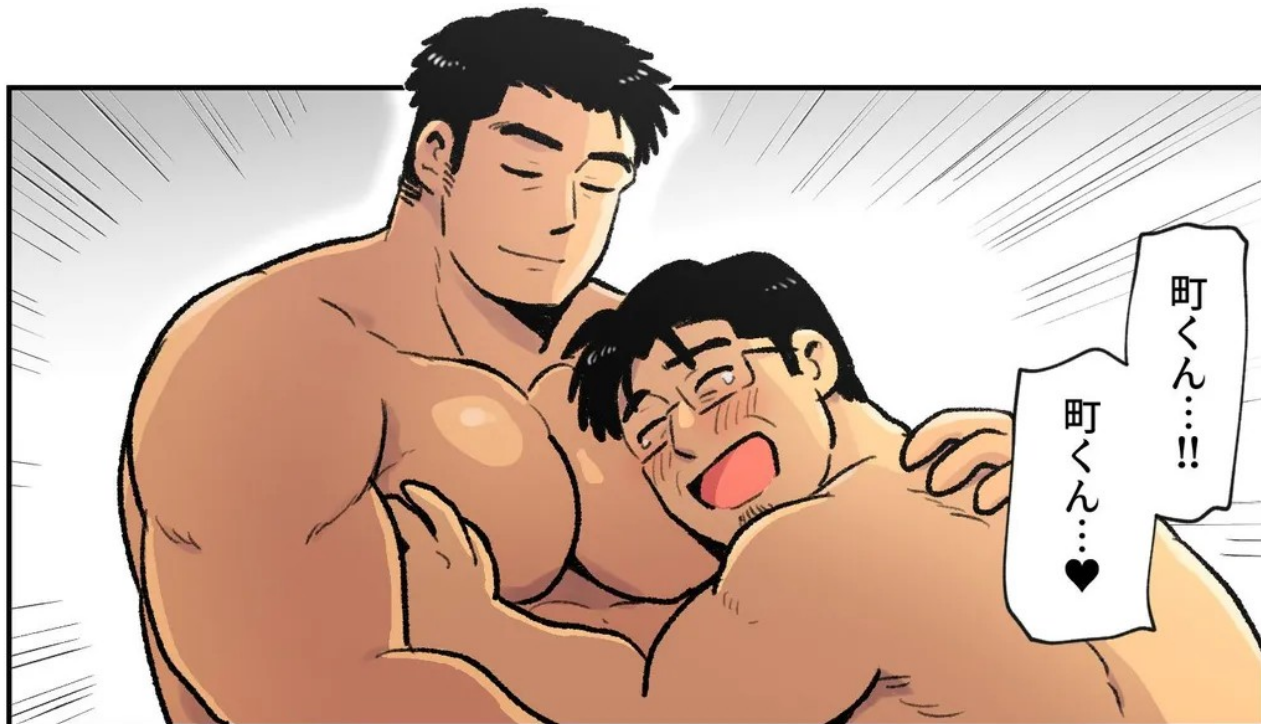


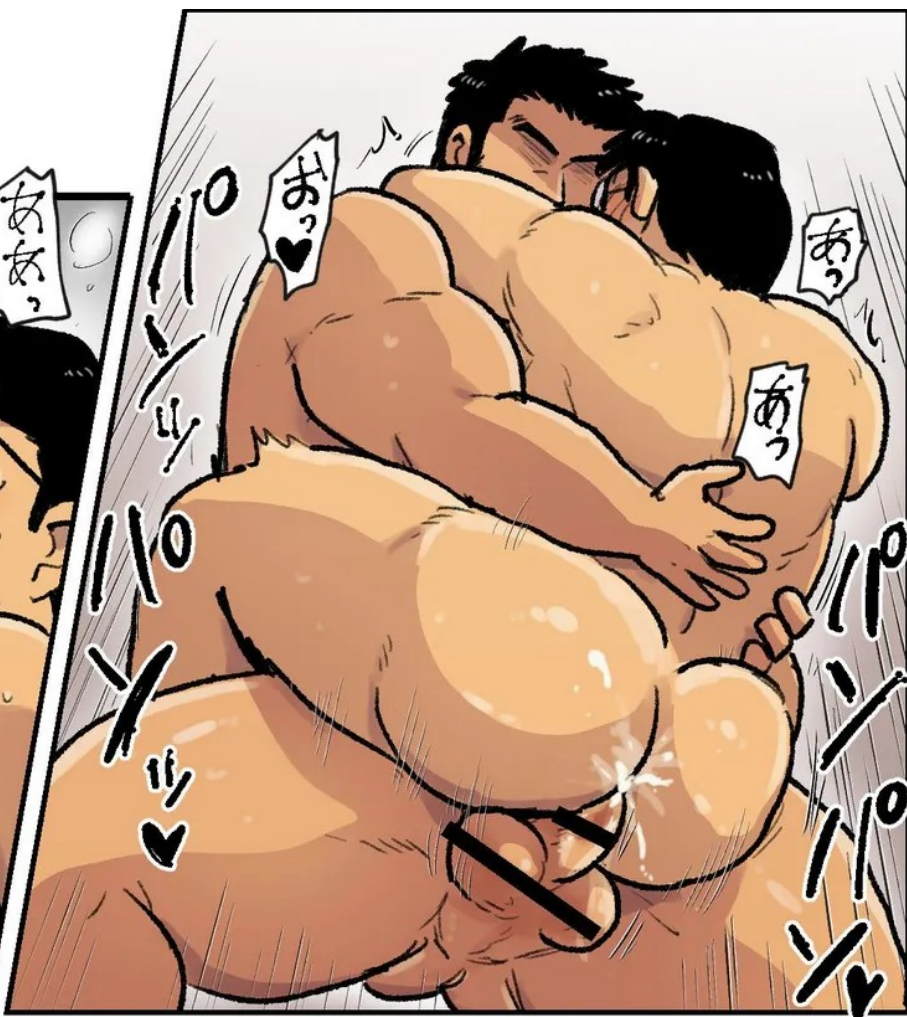


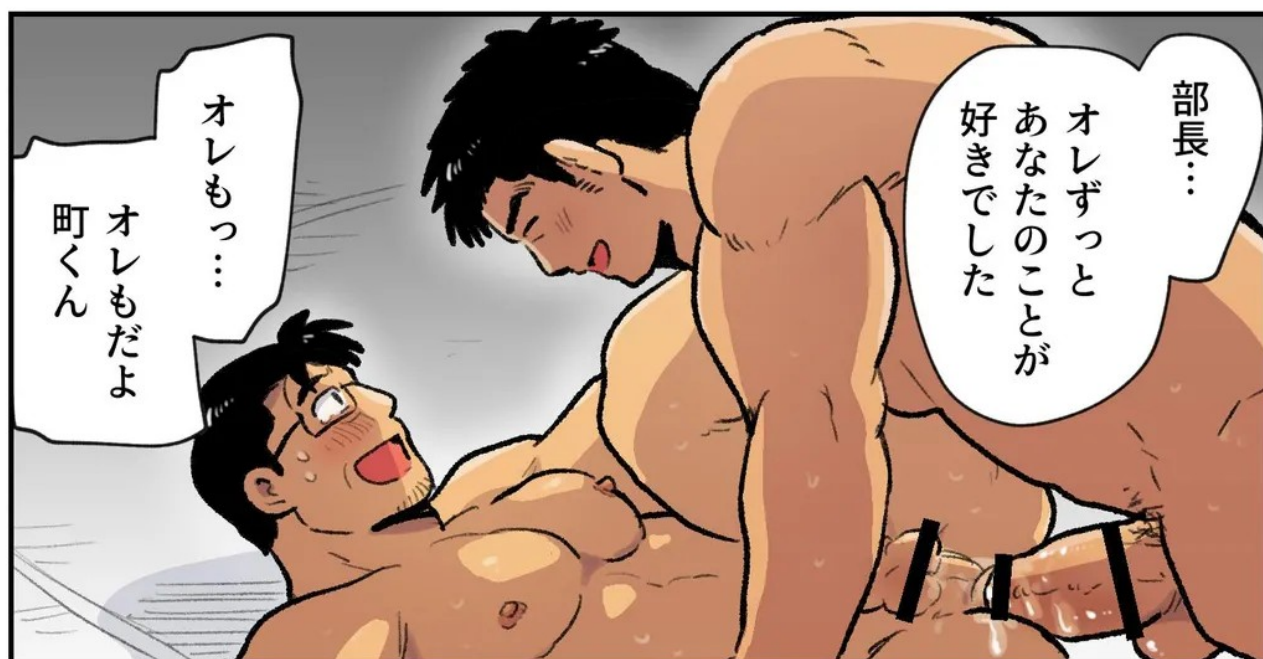






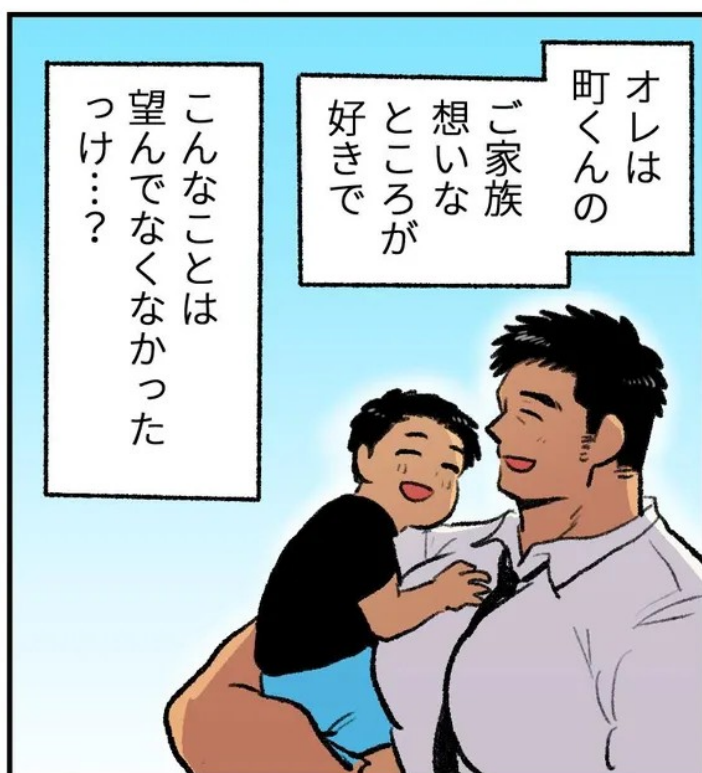
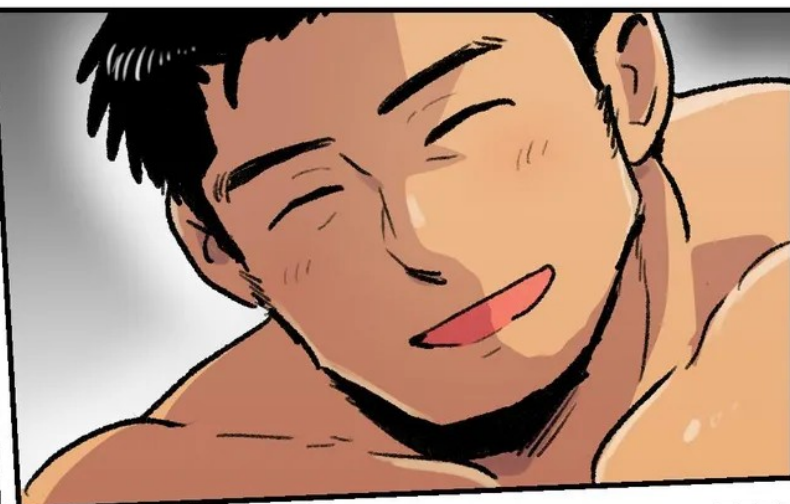




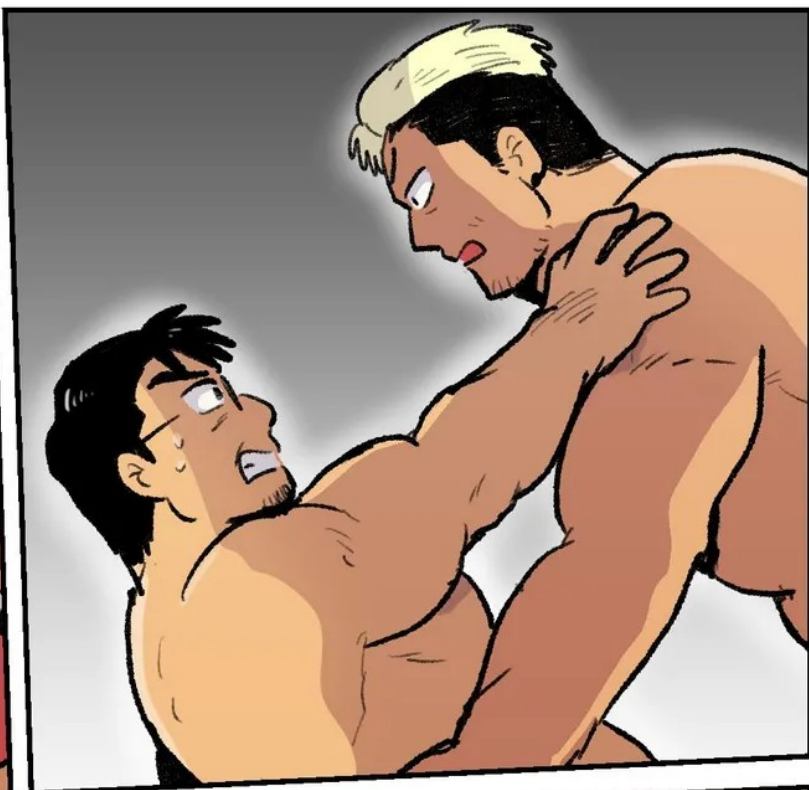




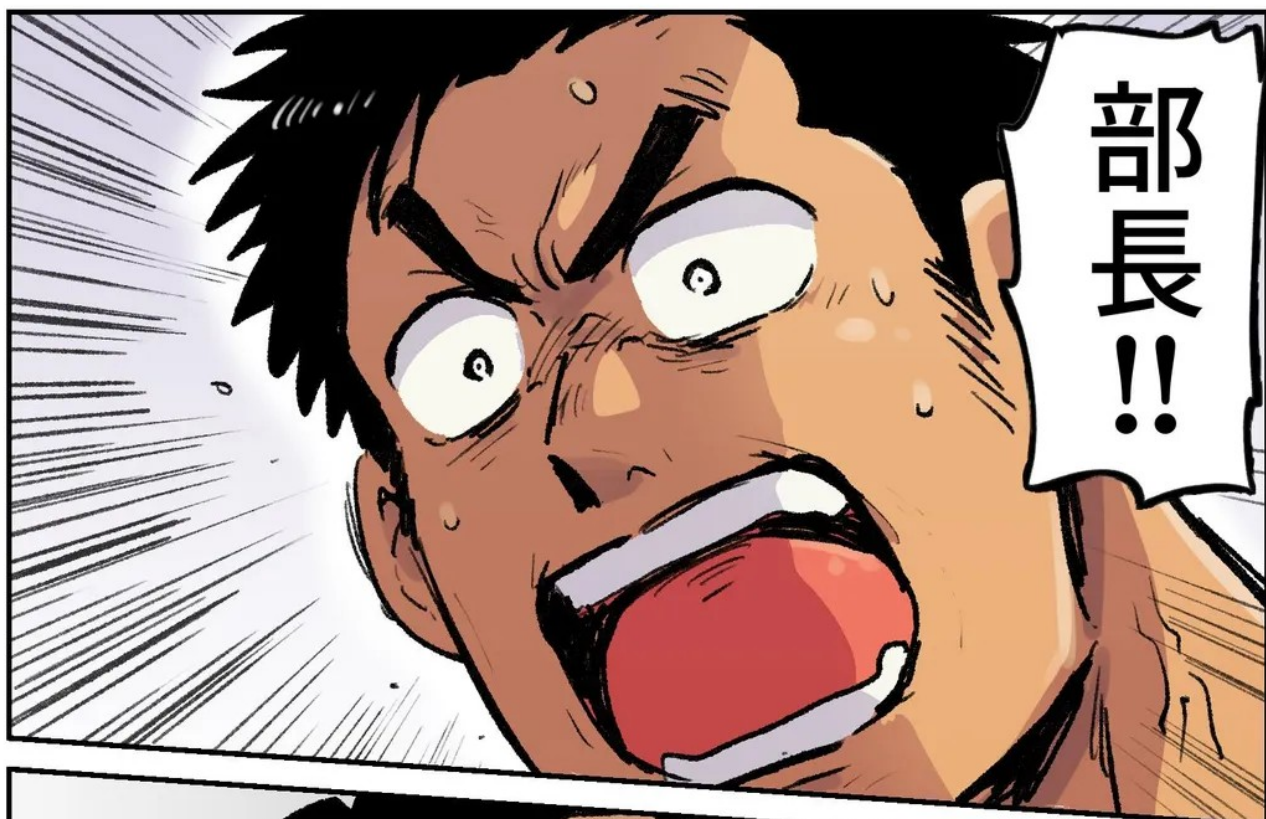
町くんって









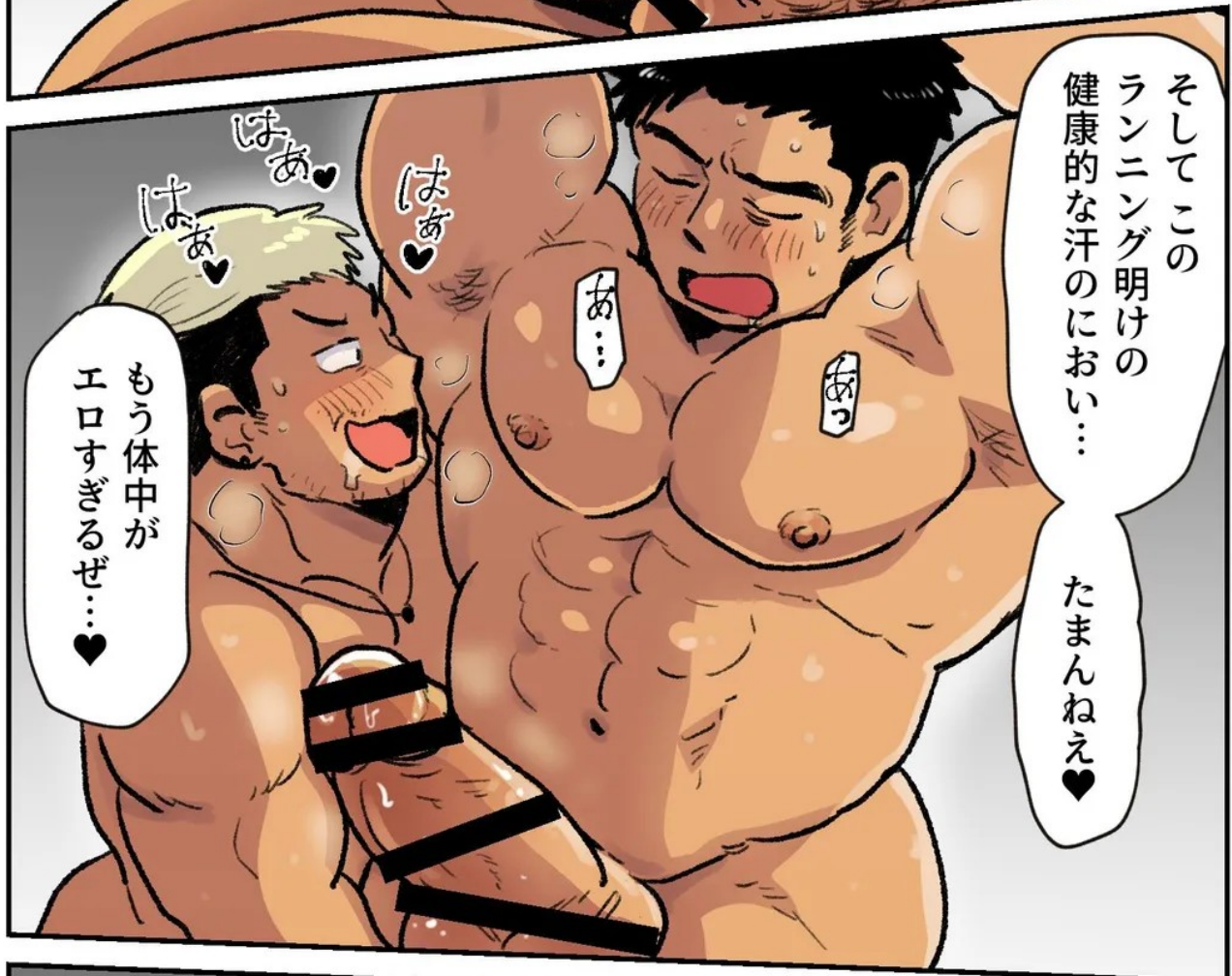
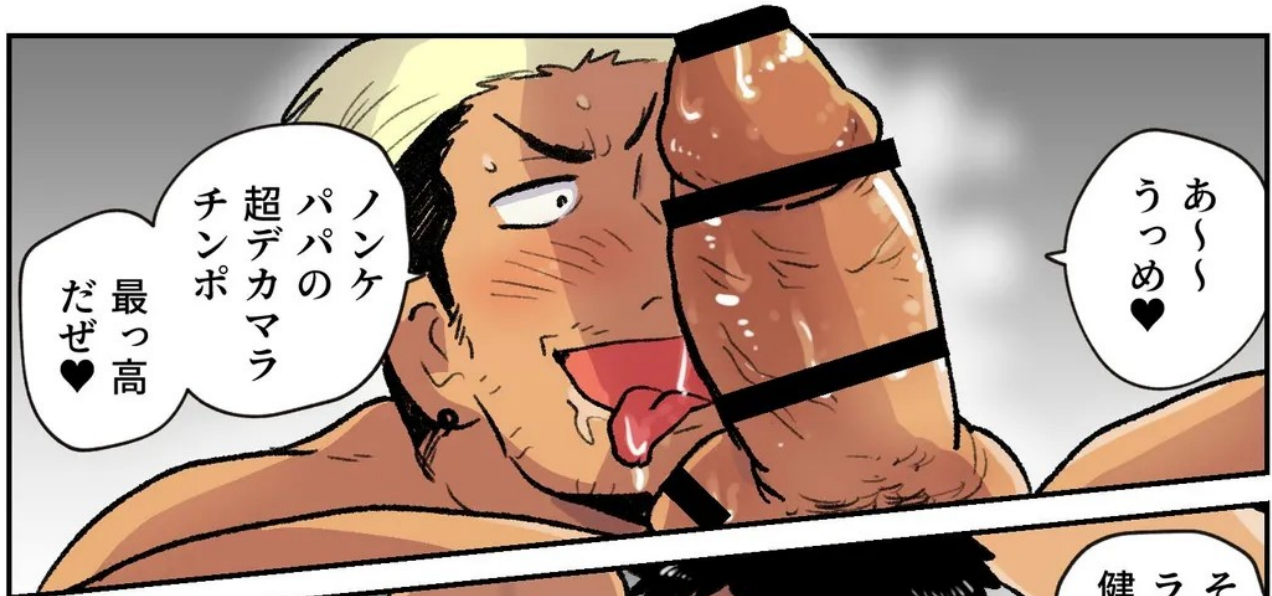


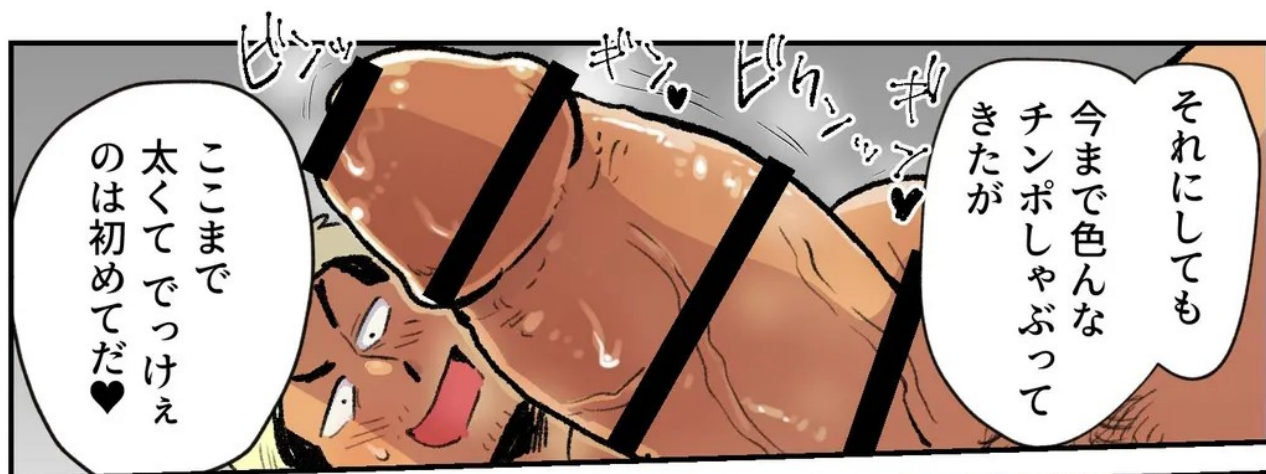


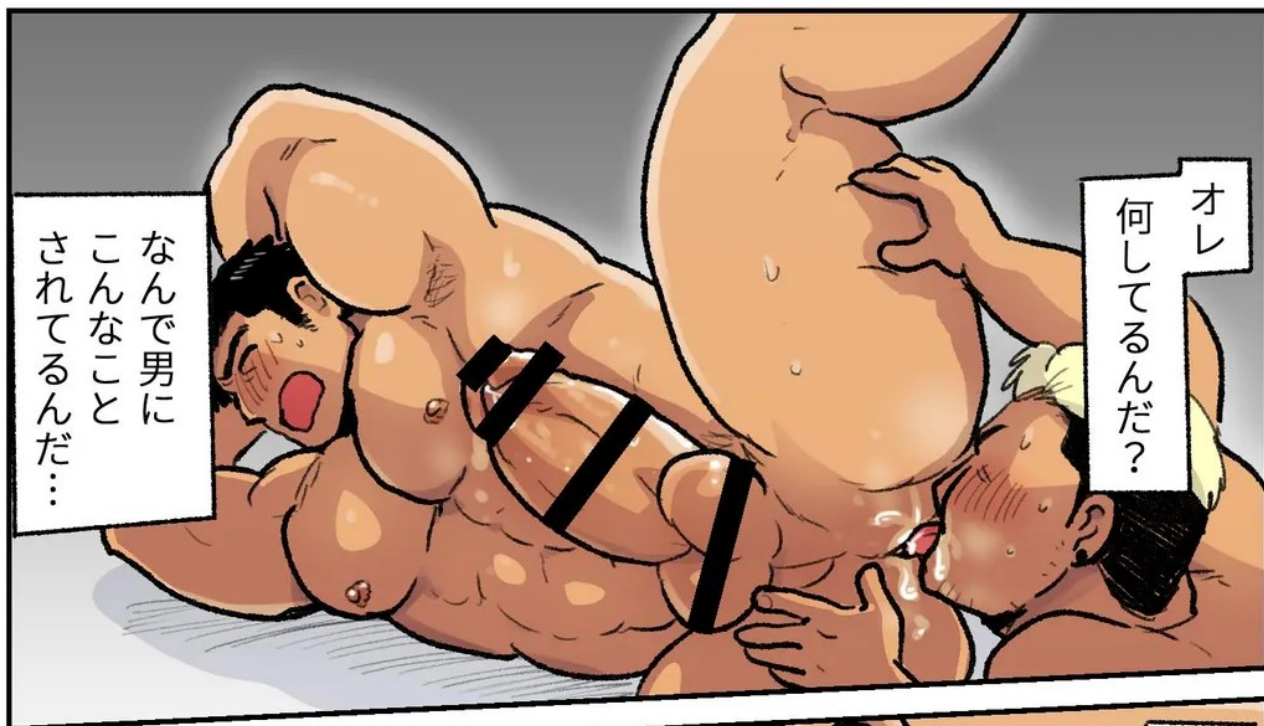






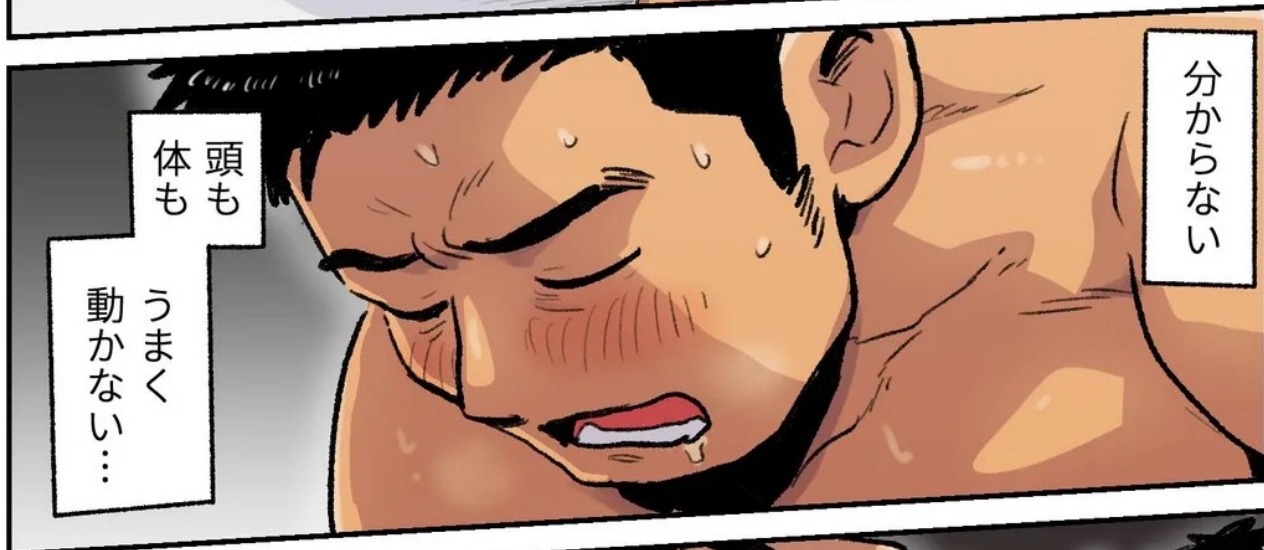






なんで男に
こんなこと
されてるんだ…

オレ
何してるんだ？



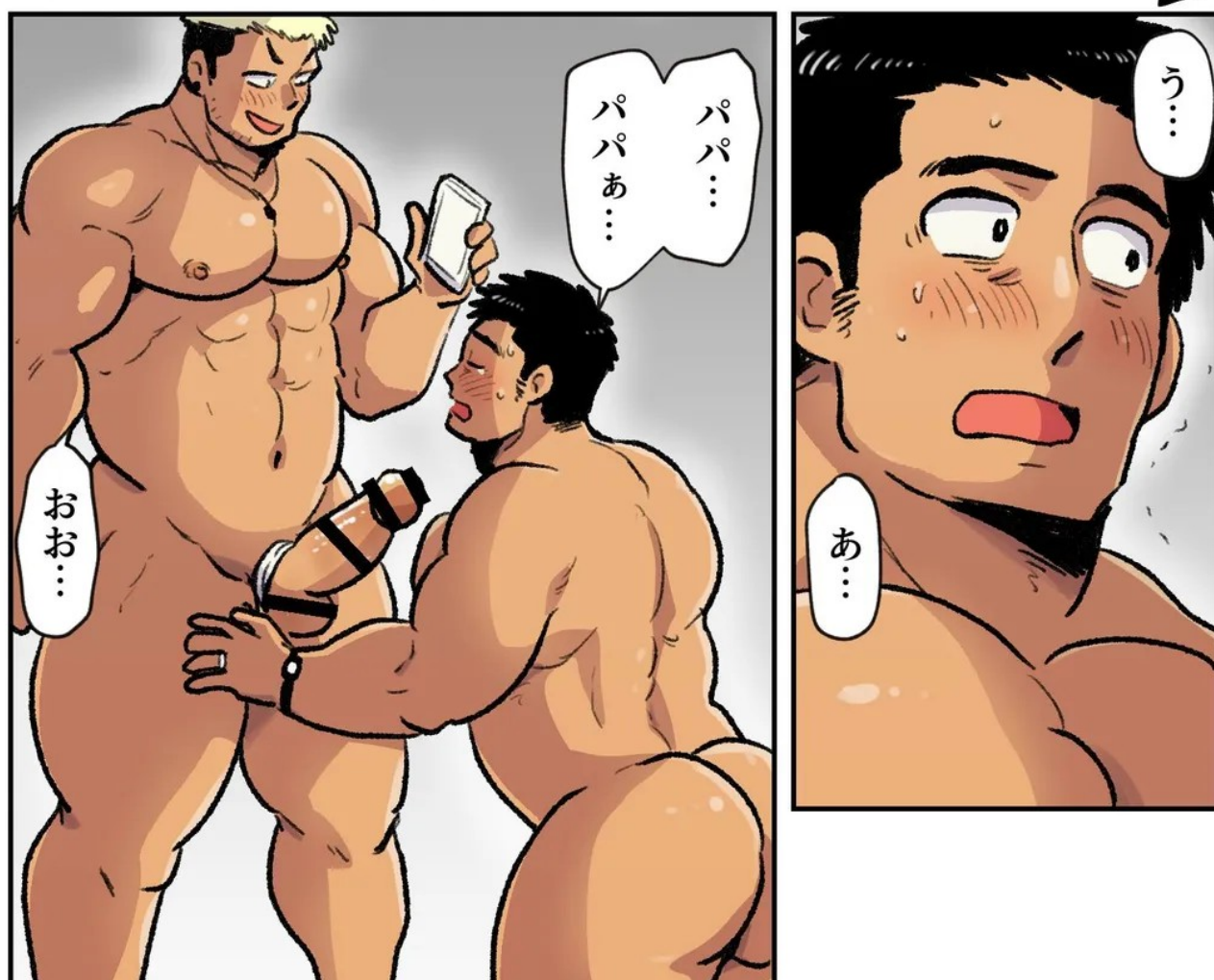
頭も
体も
うまく
動かない…

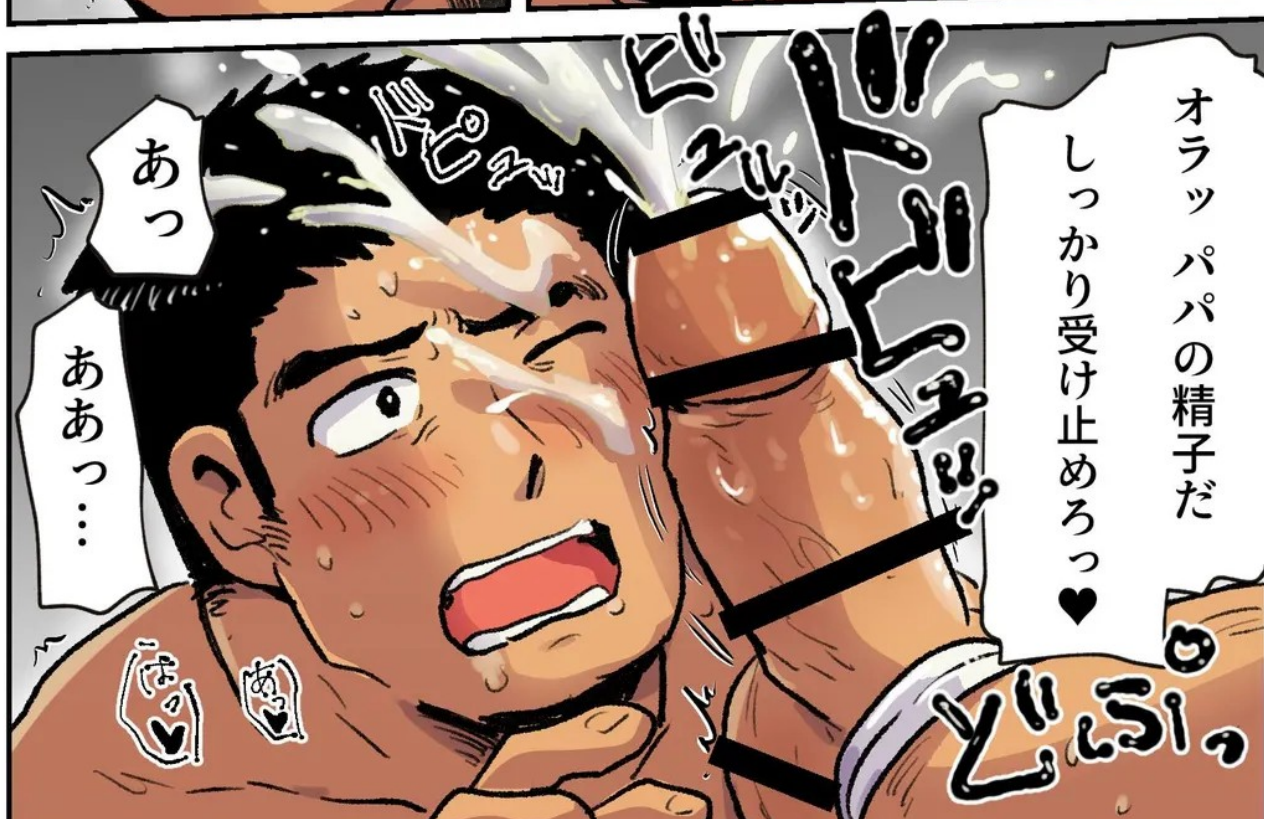
分からない

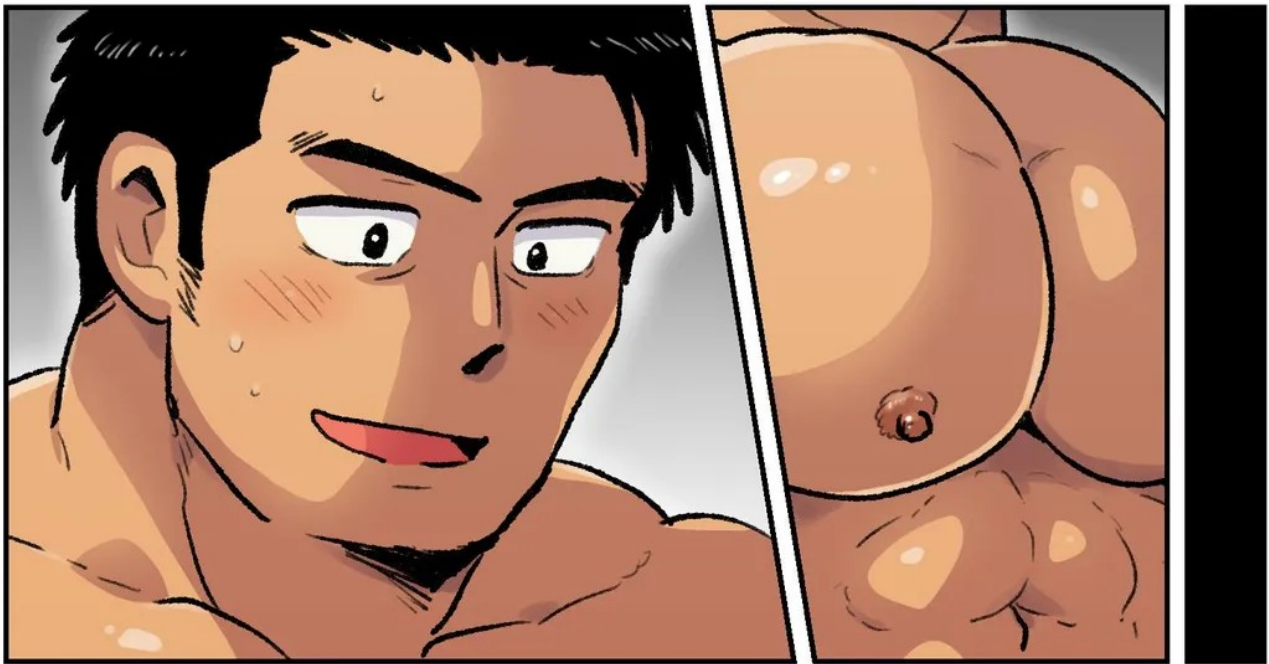


全身の快樂の
ことしか考え
られない…

ただひたすら
チンコと
ケツと
乳首と

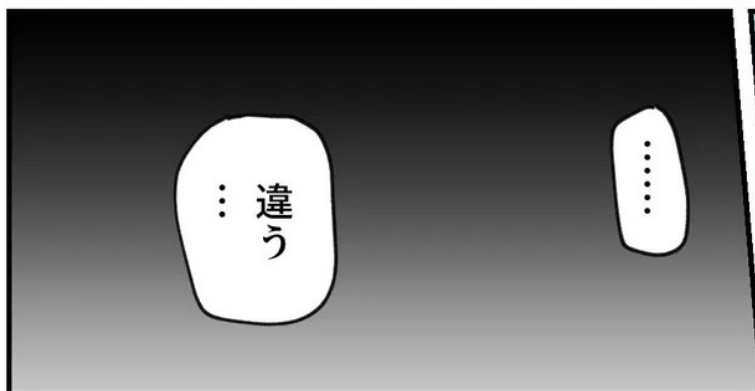
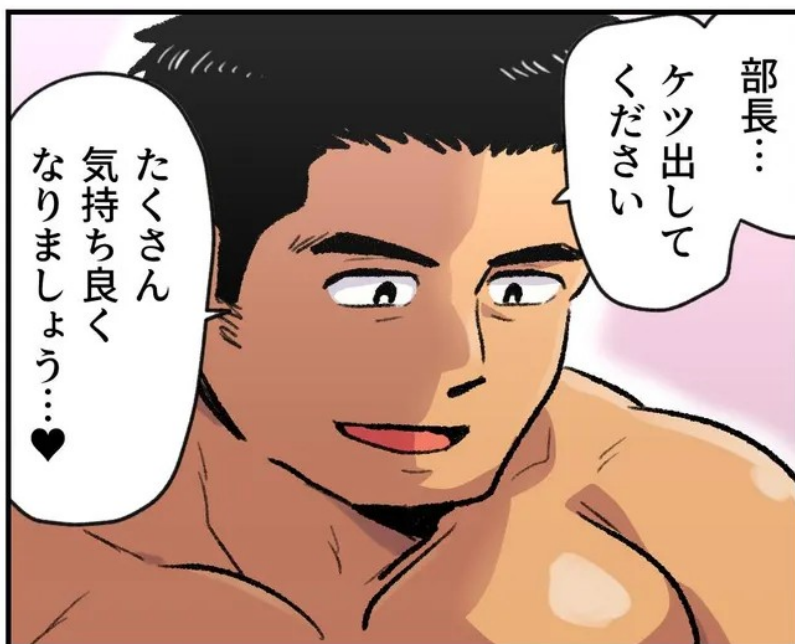






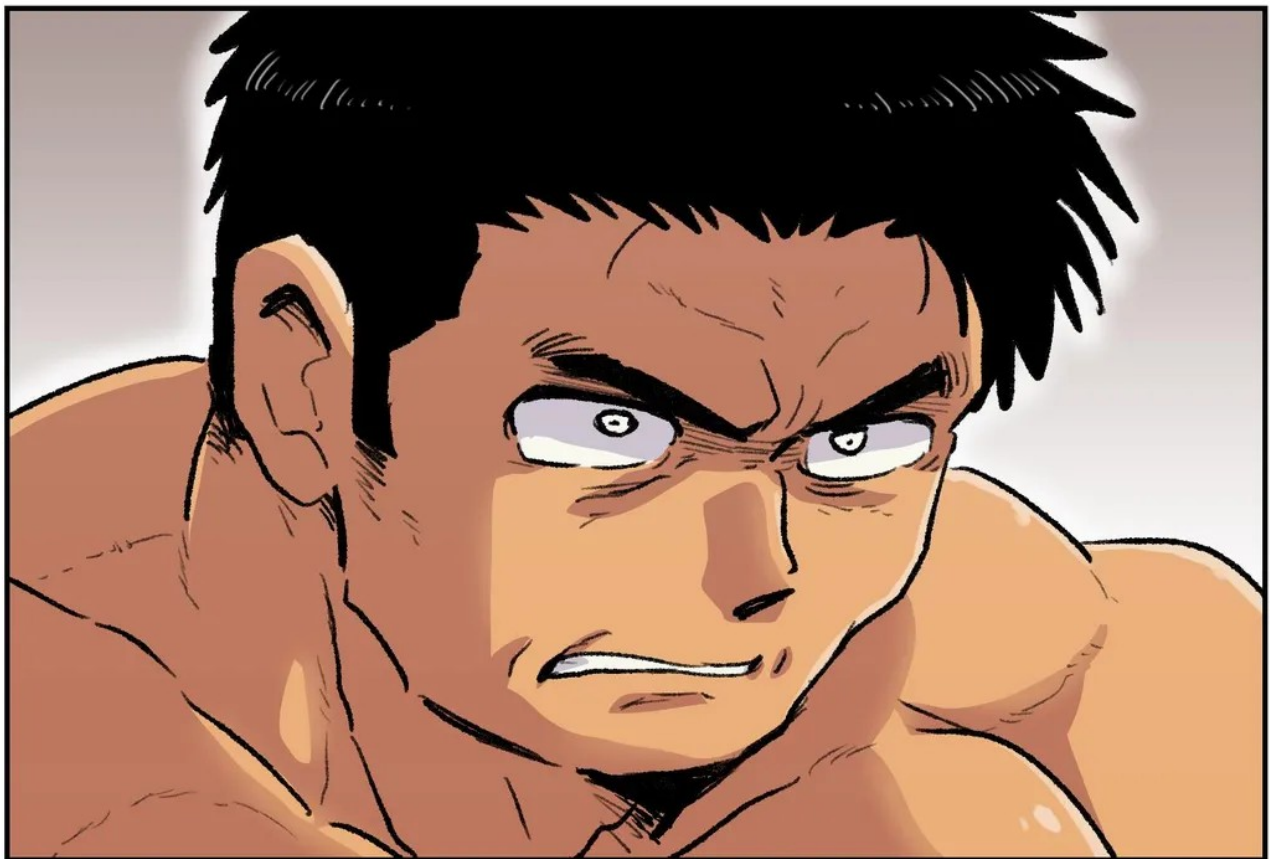
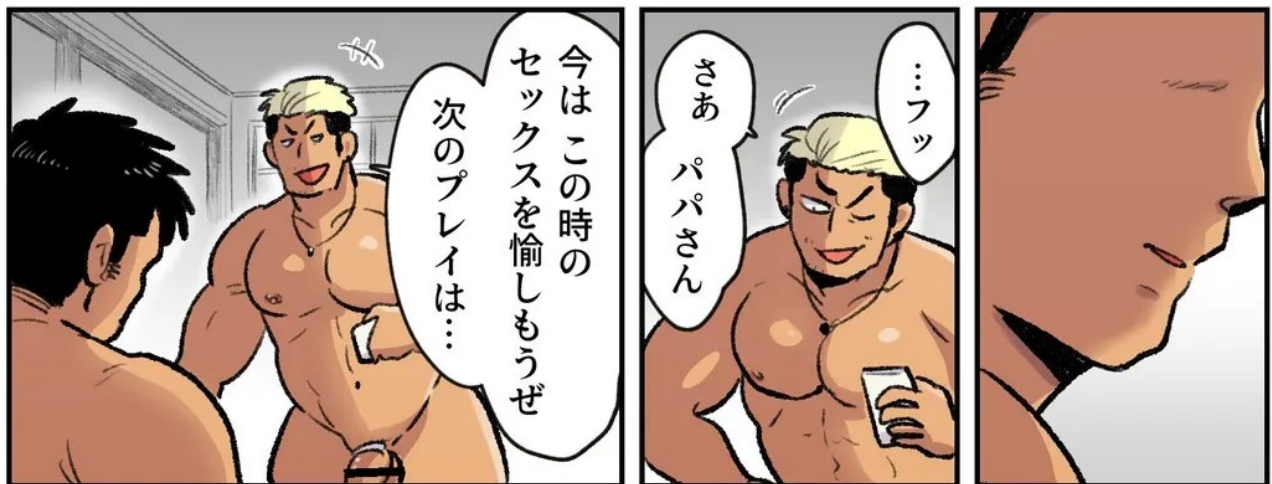






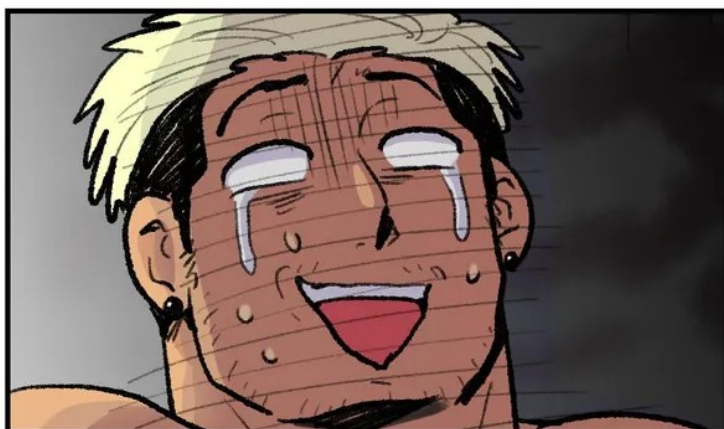
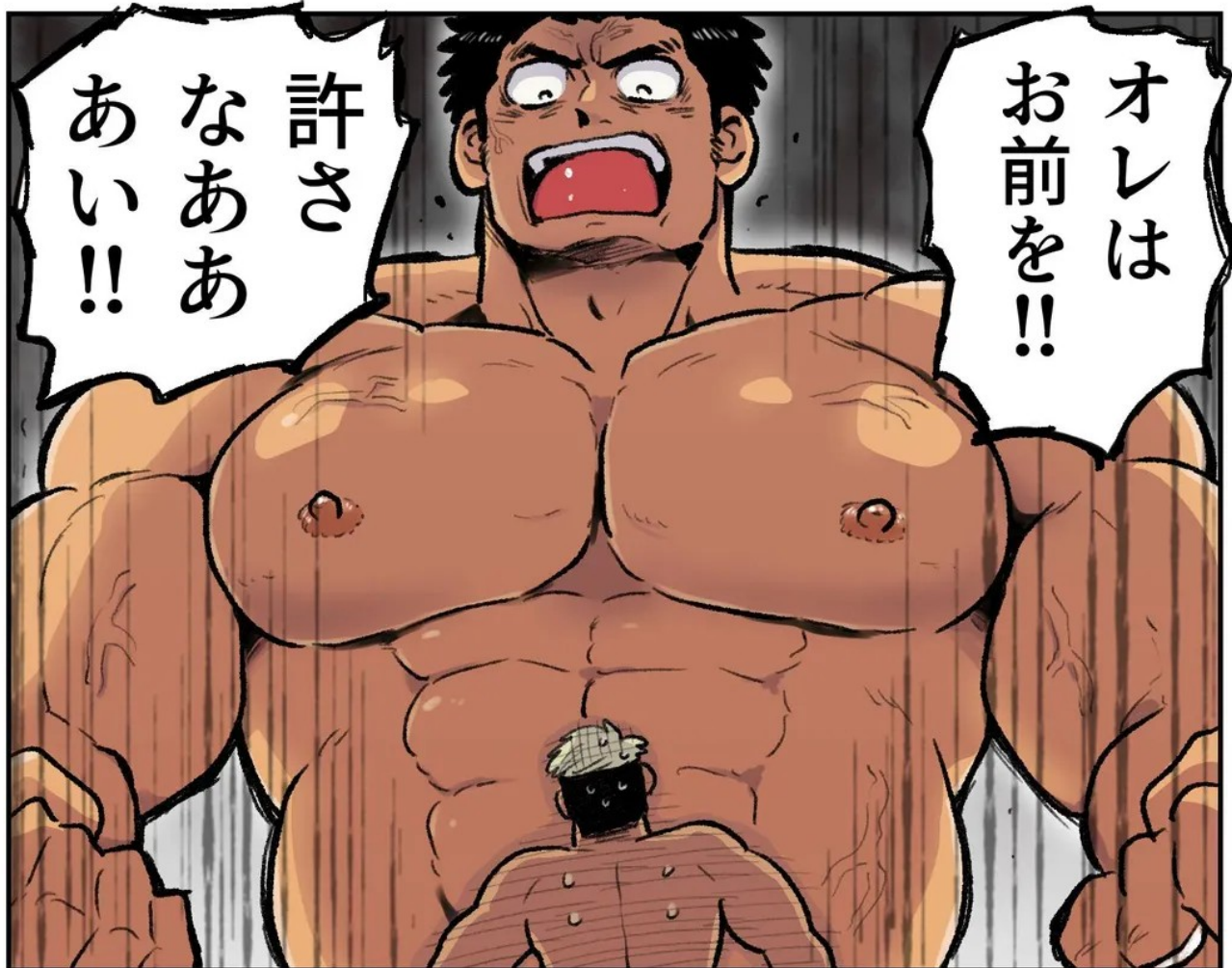


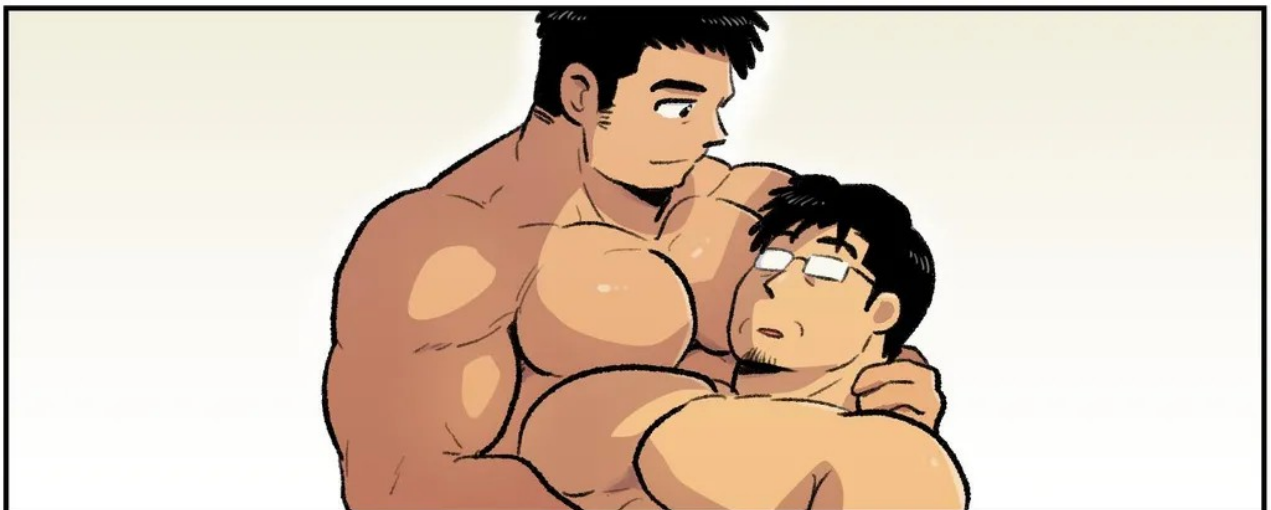
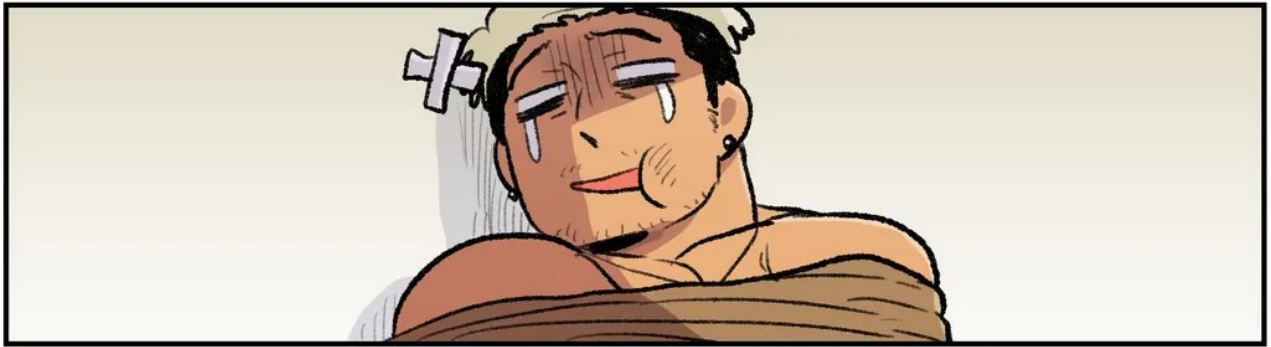


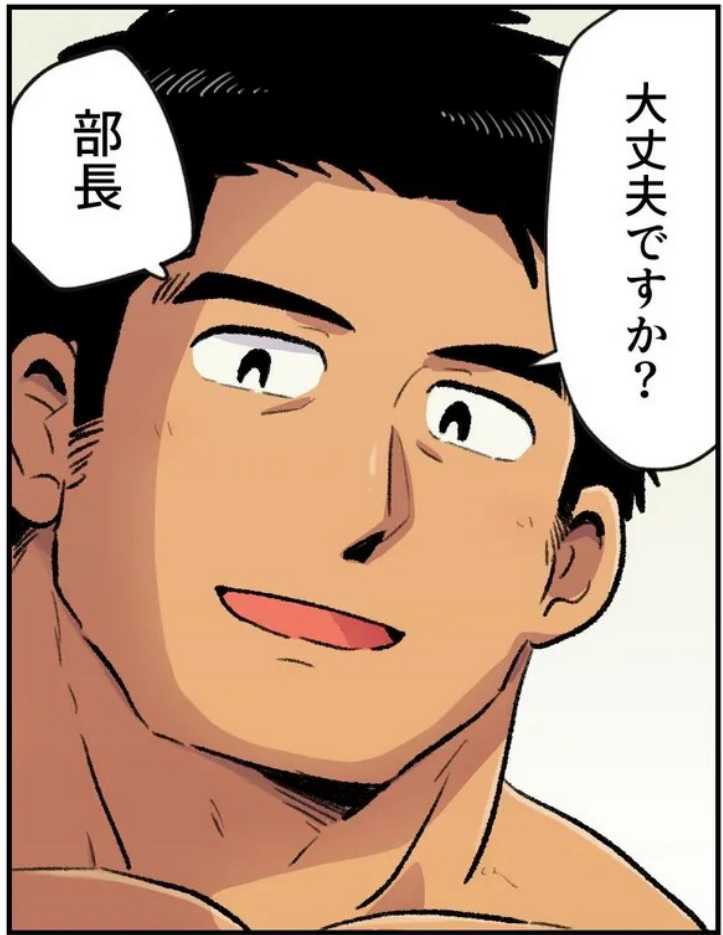
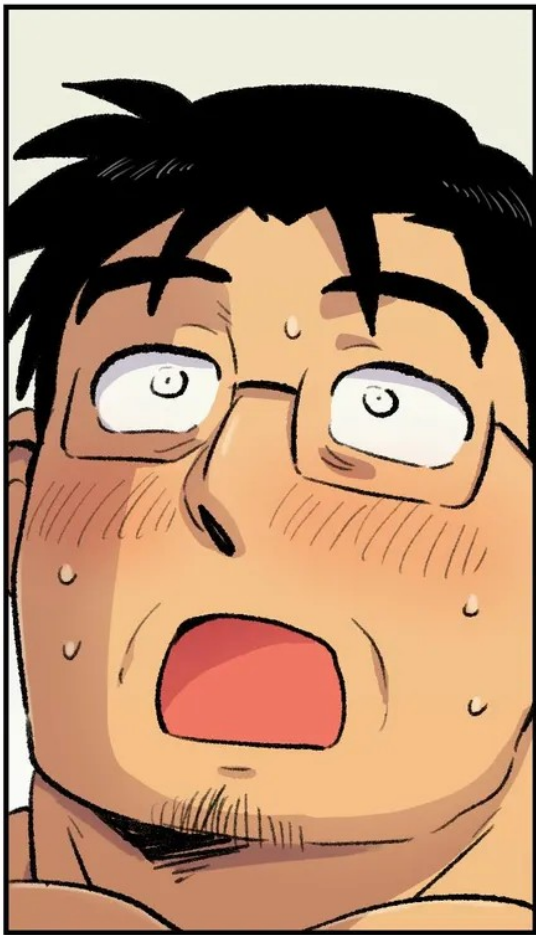


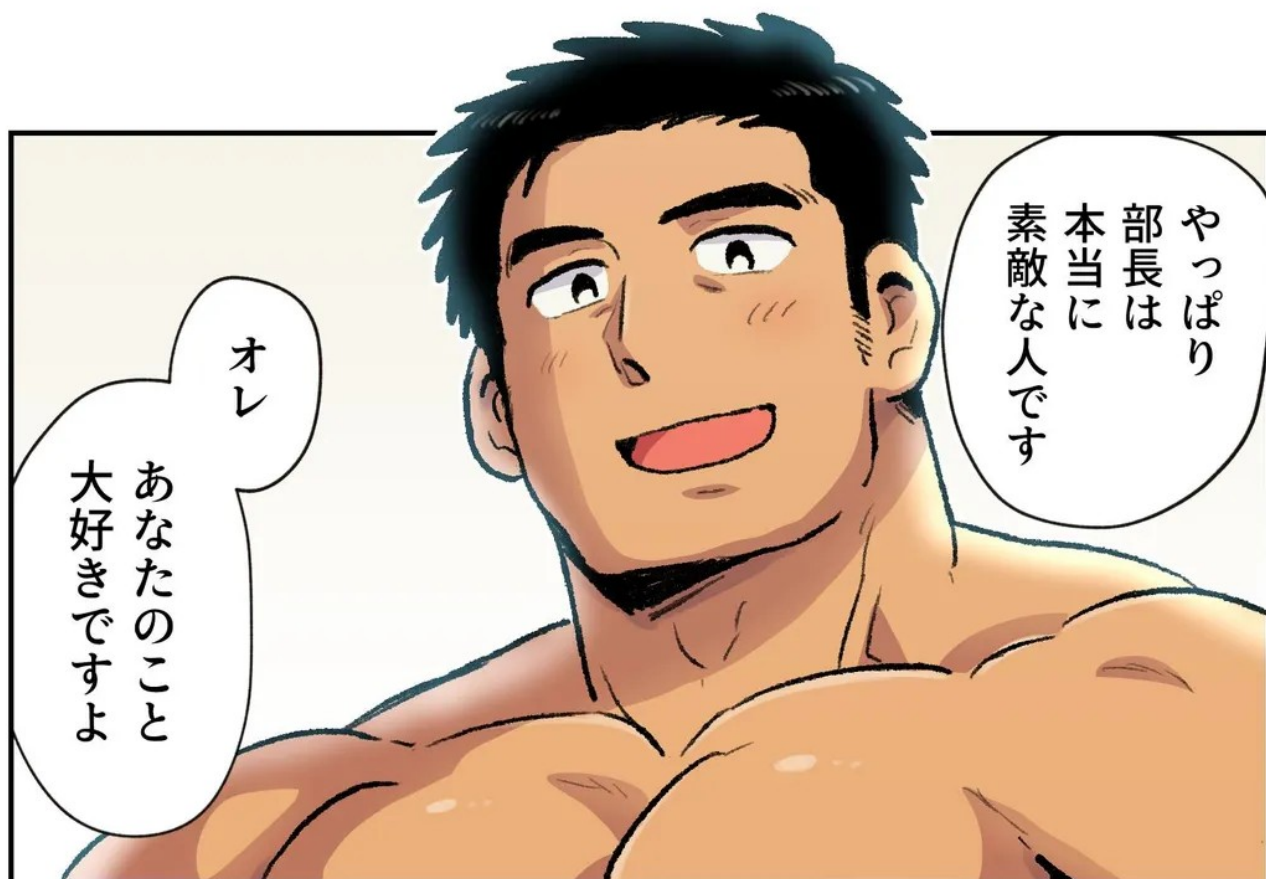
















あの出張の夜の
記憶はなぜだか
ほとんどない

私は酒でも
呑み過ぎたの
だろうか

だけどあれ以来
町くんと
距離が縮まってる
ような気がする

よく分からないけど
幸せである





あとがき ★

どうも ほしえたがです！ 私のこのような 有料のまんが
まで お手に取って下さる あなた！ 本当にありがとう
ございます！ なんて おやさしい方^{かた}なのでしょう。

しゅき

えー 今回のまんがはですぬー 正直なかなか
難産な 1本になりました…w

次ページにつづく →

あとがきのつづき

最近めっちゃハマったキャラ^{*}がおりまして、その人をモデルにエロまんが描ーこお!と思ったのはいいものの、好きすぎてデザインや設定がなかなか決まらずにネームが固まるまですごく時間がかかりました。私二次創作描くの、て苦手なタイプなんでした。そういえば、好きすぎて、いくら自分が描いても「本家の良さを全然表現できねえ!!」ってなっちゃうのび。完全オリジナルキャラは好き放題できるからうわ♥

そしていざ描きはじめたら今描くのに使ってるパソコンがぶっこわれかけまして。なんとかかんとかまたもたせてますけど、いつまたピーピー鳴ってブチンと落ちるかとおびえながら作業するのは非常におそろしくてかなーりつかれました。完成が間に合、て良かったー!

などと大変でしたアピールしつつもやっぱりまんが描くのは好きなのです。とても楽しかったですよ。ノンケマッちょパパ描くの...♥

あとがきまで長くなっちゃった! それでは改めて、読んでくださってありがとうございます。またお会いできますよう★

おご
ほしえだ

以下、無断転載ダメだよのテンプレート



※ 2004年の映画
「ULTRAMAN」
の真木さん

本作品の無断での翻訳、加工、転載は禁止です。
著者の許諾なくアップロードした者は、閲覧数及び被ダウンロード数に応じて本著作の価格分を著者に支払うことを合意したものとします。係争の移管先は東京地方裁判所とします。

The translation, the processing and the reprint by which this work is without notice are prohibited.
The person who uploaded it without author's assent makes the number of reading and the case that it'll be paid to an author according to the number of his download for the price of this book the one on which he agreed.
The transfer destination of conflict is made Tokyo district court.